

弥生製品を インストール しよう

1

インストール・コンバートマニュアル

こんなときに
便利です!

製品のインストール、
アンインストール
方法を知りたい。

旧製品の
データを移行して
利用したい。

● Microsoft Windows 7/Vista の OS をご使用の場合

インストールやコントロールパネルの操作など、OS に影響する操作を行うには管理者権限が必要となります。Microsoft Windows 7/Vista でこれらの操作を行う際に、「ユーザーアカウント制御」に関するメッセージが表示された場合は、メッセージ内容を確認し、[続行] ([はい]) または [実行] ボタンをクリックします。管理者アカウントのパスワードを要求された場合は、コンピューターの管理者にご確認ください。

● セットアップ中のエラーについて

製品のセットアップ中にエラーとなった場合に表示される主なメッセージについては『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」で解説しています。セットアップ作業中にエラーメッセージが表示された場合に参考にしてください。

● データベースのインストールにかかる時間について

データベースのインストールには、お使いの環境によって、30 ～ 90 分程度の時間がかかる場合があります。

● 弥生販売プロフェッショナル 5 ユーザーをお使いの場合

弥生販売プロフェッショナル 5 ユーザーをお使いの場合は、「弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー」を「弥生販売プロフェッショナル 5 ユーザー」に読み替えてください。セットアップ方法については、「弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー」と同様です。

【お断り】

- 本書および弥生販売のヘルプは、Microsoft Windows 7 の環境で作成しています。Microsoft Windows Vista や XP では、画面および表記等が異なることがあります。
- 本書の解説では、弥生販売 12 プロフェッショナル 2 ユーザーの画面を使用しています。ネットワークの場合は「プロフェッショナル 2 ユーザー」を「ネットワーク」に読み替えてください。

本書は、2011 年 9 月現在の製品仕様により作成しています。

そのため、本書の記載事項や画面などと、製品仕様が異なる場合も生じますことを、あらかじめご了承下さい。

また、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、弊社にご連絡下さい。

弥生製品のサポートは、サポート契約内容によって、サポート＆サービスの対象となる機能や環境が異なります。詳細は『サポート＆サービスガイド』でご確認ください。

『弥生』は、弥生株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server、Internet Explorer、Outlook、Excel、Silverlight は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe Reader、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Citrix、Citrix XenApp、Citrix Presentation Server は、Citrix Systems Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

本文中、® マークは明記しておりません。

覚え書き(メモ)

次の内容をメモに記入して、大切に管理してください。

	記入欄
弥生製品登録番号 (P3)	- - -
サーバーの コンピューター名 (P35)	
データベースの sa パスワード ※	

※「データベースの sa パスワード」は、データベースのインストール時に設定したパスワードです。
『データベースインストールマニュアル』-「第2章 データベースのセットアップ」を参照してください。



データベースの sa パスワードは、大切に保管してください

「データベースの sa パスワード」を記入したら、不正アクセスや情報漏洩などを防止するために、必要のない他の人には知られないように保管してください。

次の順でセットアップの準備を進めてください

Step1

セットアップ前の
準備→(P3)



Step2

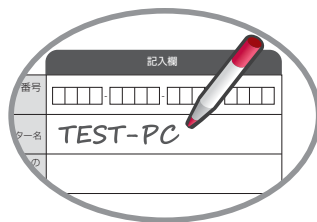
セットアップの流れ
→(P8)

セットアップ前の準備

～ セットアップ前には準備が必要です ～

確認しておくこと

セットアップする前に、製品のインストールに必要な項目や注意事項を確認します。
必要に応じて、確認した内容を忘れないように P2 の「覚え書き(メモ)」に記入していきます。



弥生製品登録番号の確認

弥生製品登録番号は、弥生製品をインストールするときに必要です。弥生製品をインストールする前に確認しておきましょう。

弥生製品登録番号は、以下の方法で確認することができます。確認したら「弥生製品登録番号」を「覚え書き(メモ)」(P2)に転記しましょう。

- ・ 店頭で製品を購入されたお客様の場合
DVD-ROM のケースに記載されている「弥生製品登録番号」
- ・ 弊社より発送した製品をご利用のお客様の場合
発送時同梱の「弥生製品登録番号」を記載した文書
- ・ オンラインで入手された製品をご利用のお客様の場合

マイページ(<http://www.yayoi-kk.co.jp/ist/11/dealing/mypage.html>)
上記の入手方法のいずれの場合でも、ユーザー登録が完了している方は、マイページ(<http://www.yayoi-kk.co.jp/ist/11/dealing/mypage.html>)で弥生製品登録番号を確認することができます。



弥生製品登録番号は、大切に保管しておいてください

弥生製品登録番号は、製品の初回起動時だけでなく、コンピューター移行時や再インストール時、次バージョンのインストール時にも必要です。大切に管理しておいてください。

必要なハードウェアとソフトウェア

弥生販売を使用するために、必要なハードウェアやソフトウェアを確認しておきましょう。

→「必要なハードウェアとソフトウェア」(P26)

弥生販売のシステム構成

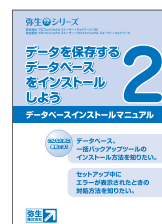
初めて弥生販売を導入する場合には、「サーバー」と「クライアント」のシステム構成を確認しておきましょう。

→「弥生販売のシステム構成」(P32)

データベースに関する注意

弥生製品のデータは、「YAYOI インスタンス」という弥生製品用のデータベースに保存されます。データベースに関する注意事項を確認しておきましょう。

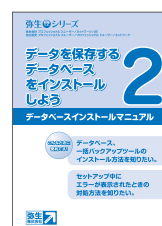
→別冊『データベースインストールマニュアル』－「第 1 章
セットアップ前の確認」



ネットワーク環境に関する注意

複数台のコンピュータで利用するために、ネットワーク環境で使用する際の注意事項を確認しておきましょう。

→別冊『データベースインストールマニュアル』－「第 1 章
セットアップ前の確認」



サーバーのコンピューター名の確認

ネットワーク環境で弥生販売を使用するには、サーバーとクライアントの各設定で、サーバー(データベースをインストールしたコンピューター)のコンピューター名を使用します。セットアップ前に確認しておきましょう。

→「コンピューター名の確認」(P35)

ここまで完了したら、「セットアップの流れ」(P8)に進んでください。

目 次

第 1 章	セットアップの流れ	7
1	セットアップの流れ.....	8
2	初めて弥生販売を導入する場合.....	9
2-1	弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合	9
2-2	弥生販売ネットワークの場合	13
3	旧製品からバージョンアップする場合	16
3-1	弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合	16
3-2	弥生販売ネットワークの場合	20
第 2 章	インストール前の確認	25
1	必要なハードウェアとソフトウェア	26
2	弥生販売のシステム構成	32
2-1	弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーのシステム構成 ..	33
2-2	弥生販売ネットワークのシステム構成	34
3	コンピューター名の確認	35
第 3 章	データベースのインストール	37
1	データベースのインストール.....	38
第 4 章	弥生販売のインストール	39
1	弥生販売のインストール	40
2	弥生販売の起動.....	46
3	ライセンス認証と認証解除	47
3-1	ライセンス認証について	47
3-2	ライセンス認証を行う	47
3-3	ライセンス認証の解除を行う	52
4	ユーザー登録<プロフェッショナル 2 ユーザーのみ>	56
5	導入アドバイザー	57

第 5 章 データベースへの接続設定 59

- 1 データベースへの接続設定 60
 - 1-1 データベースへの接続設定の流れ 60
 - 1-2 事業所データとデータベースの接続設定 63
 - 1-3 ログインパスワード(sa パスワード)の設定 67
- 2 クライアントからサーバーに接続する 70

第 6 章 旧製品からの移行 75

- 1 旧製品からの移行の流れ 76
- 2 事業所データのコンバート 77
 - 2-1 コンバート対象製品 77
 - 2-2 事業所データのコンバート 77
- 3 帳票レイアウトデータのコンバート 82
 - 3-1 コンバート対象製品 82
 - 3-2 帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)のコンバート ... 82
- 4 環境設定のコンバート 85
 - 4-1 コンバート対象製品 85
 - 4-2 環境設定コンバートの対象項目 85
 - 4-3 環境設定のコンバート 86
 - 4-4 複数ユーザーでの使用 91
- 5 データコンバート後の設定と確認<ネットワークのみ> 92

第 7 章 プログラムの修復と削除 93

- 1 弥生販売の修復と削除 94
 - 1-1 弥生販売の修復 94
 - 1-2 弥生販売の削除 96

1

セットアップの流れ

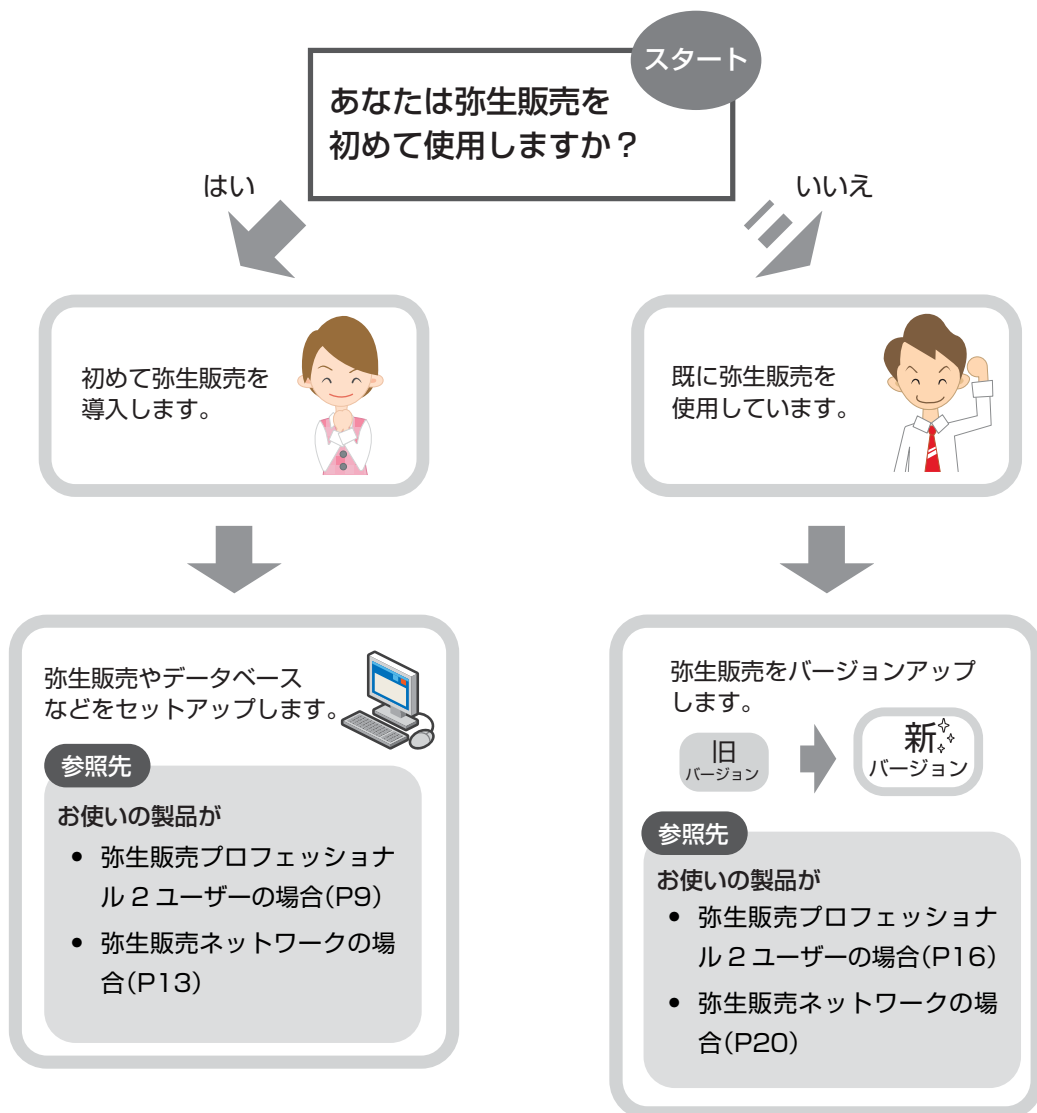
弥生販売 12 を使用するためのセットアップの流れを説明します。

1 セットアップの流れ	8
2 初めて弥生販売を導入する場合	9
3 旧製品からバージョンアップする場合	16

1 セットアップの流れ

セットアップ方法の確認

弥生製品は、「初めて弥生販売を導入する場合」と「既に弥生販売を使用されている場合」とでセットアップの流れが異なります。ご自分がどのセットアップ方法に該当するか次のフローで確認しましょう。



2 初めて弥生販売を導入する場合

弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーと弥生販売ネットワークで、セットアップ方法が異なります。購入された製品のセットアップ方法を参照してください。

製品名	参照先
弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー	P9
弥生販売ネットワーク	P13

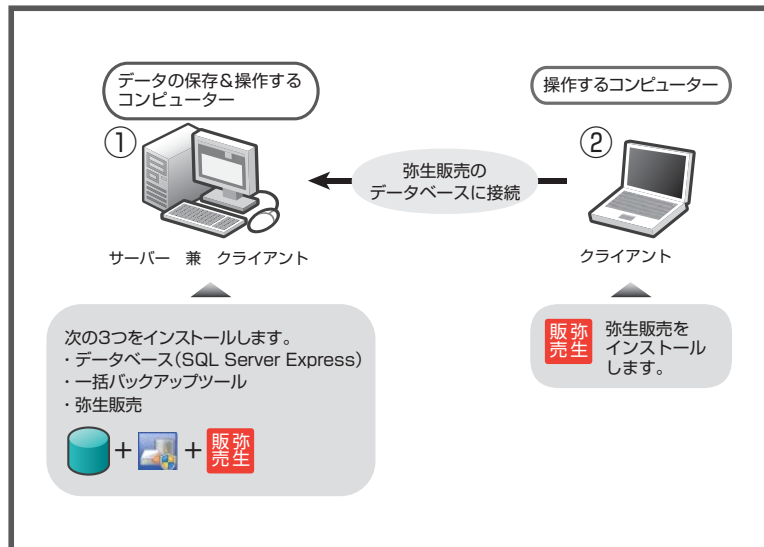


セットアップ前に知っておきたいこと(サーバーとクライアント)

弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー、または弥生販売ネットワークでは、コンピューターを「サーバー」と「クライアント」に役割を分担して、各コンピューターにプログラムをセットアップする必要があります。セットアップ前にサーバーとクライアントや弥生販売のシステム構成について理解しておきましょう。詳細は、「弥生販売のシステム構成」(P32)を参照してください。

2-1 弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合

「データの保存＆操作するコンピューター(サーバー 兼 クライアント)」のセットアップが完了後、「操作するコンピューター(クライアント)」のセットアップを行ってください。

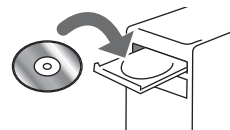


👉 セットアップ手順

① データの保存&操作するコンピューター（サーバー 兼 クライアント）

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



データベースのインストール

日々の販売データを保存するための、データベース(SQL Server Express)をインストールします。

YAYOI インスタンスの確認

データベース(SQL Server Express)の YAYOI インスタンスが起動していることを確認します。

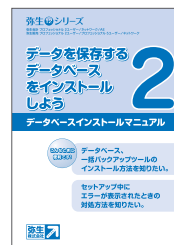
一括バックアップツールのインストール

データベースに保存された複数の事業所データを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。

一括バックアップツールでは、曜日や時間を指定して自動的にバックアップすることもできます。

操作方法については、ヘルプを参照してください。

詳細は、別冊『データベースインストールマニュアル』-「第2章 データベースのセットアップ」を参照してください。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 12 を起動して、ライセンス認証(P47)とユーザー登録(P56)(ユーザー登録画面が表示されない場合は、設定不要)を行います。

ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（事業所データとデータベース）→ P60

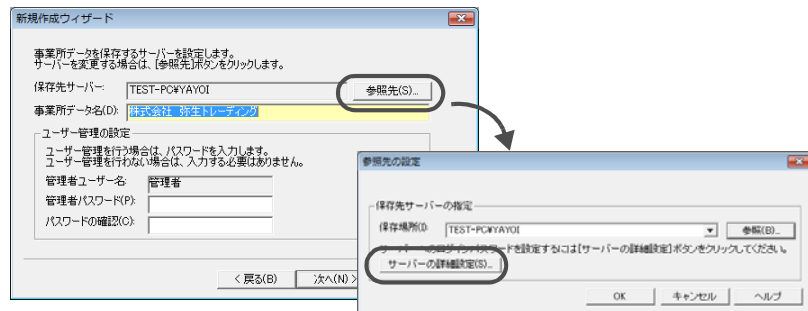
弥生販売の伝票や帳票を保存する事業所データを作成します。事業所データの作成では、どのサーバーのデータベースに保存するのかを指定して、事業所データとデータベースの接続設定を行います。

• 事業所データの作成 → P63

弥生販売を起動して、事業所データを作成します。[保存先サーバー]の設定画面まで進んだら、データベースへの接続設定を行います。

• データベースへのログインパスワード(sa パスワード)を設定 → P67

<[保存先サーバー]の設定画面>



データベースへの接続設定には、sa パスワードの入力が必要です。sa パスワードとは、データベースのインストール時に指定したパスワードです。

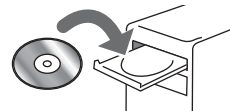
事業所データを使用するユーザーを登録→ヘルプ「ユーザーの登録」

事業所データには、同時に同じユーザー名でログインすることはできません。あらかじめ事業所データを使用するユーザーを登録しておきましょう。ユーザーの登録については、ヘルプ「ユーザーの登録」を参照してください。ヘルプは、弥生販売を起動して（P46）、[ヘルプ]メニューの[目次とキーワード]をクリックすると表示できます。

② 操作するコンピューター（クライアント）

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

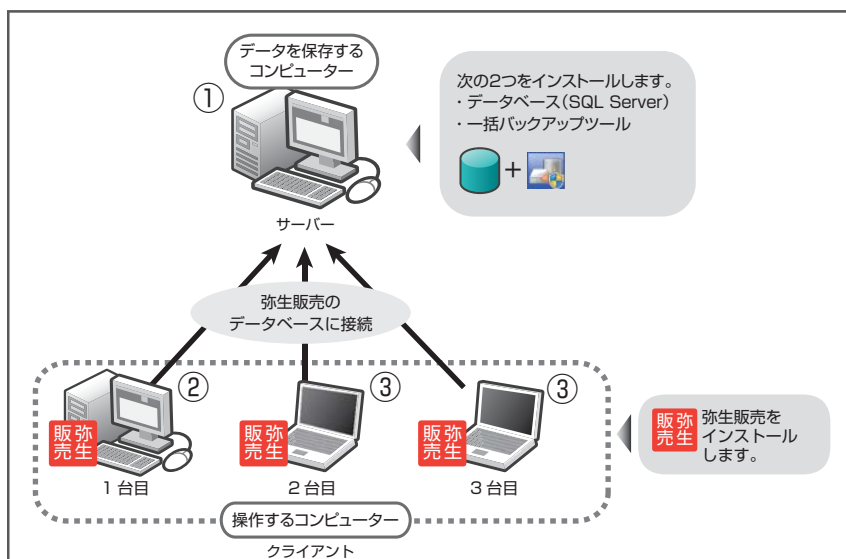
弥生販売 12 を起動して、ライセンス認証(P47)を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（クライアントとサーバーのデータベース）→ P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開きます。サーバーに保存されている事業所データに対して伝票入力や帳票出力などの作業が行えます。

2-2 弥生販売ネットワークの場合

「データを保存するコンピューター(サーバー)」のセットアップが完了後、「操作するコンピューター(クライアント)」のセットアップを行ってください。

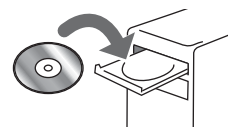


👉 セットアップ手順

① データを保存するコンピューター (サーバー)

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



データベースのインストール

日々の販売データを保存するための、データベース(SQL Server)をインストールします。

YAYOI インスタンスの確認

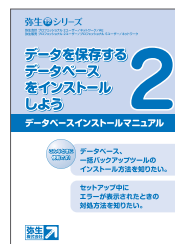
データベース(SQL Server)のYAYOIインスタンスが起動していることを確認します。

一括バックアップツールのインストール

データベースに保存された複数の事業所データを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。

一括バックアップツールでは、曜日や時間を指定して自動的にバックアップすることもできます。操作方法については、ヘルプを参照してください。

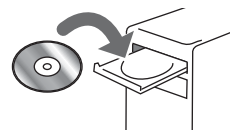
詳細は、別冊『データベースインストールマニュアル』－「第2章 データベースのセットアップ」を参照してください。



② 操作するコンピューター（クライアント）：1 台目

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 12 を起動して、ライセンス認証(P47)を行います。

ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

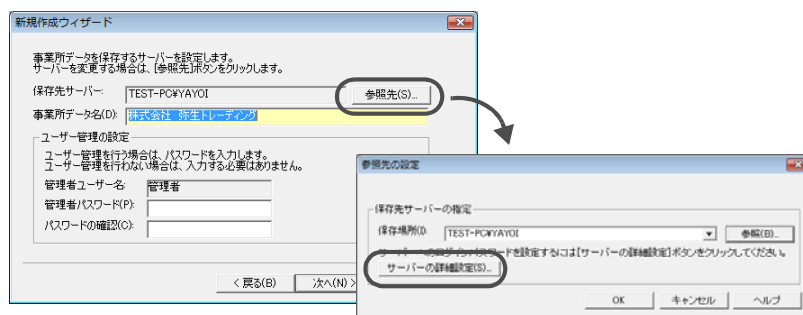
データベースへの接続（事業所データとデータベース）→ P60

弥生販売の伝票や帳票を保存する事業所データを作成します。事業所データの作成では、どのサーバーのデータベースに保存するのかを指定して、事業所データとデータベースの接続設定を行います。

・ 事業所データの作成 → P63

弥生販売を起動して、事業所データを作成します。[保存先サーバー]の設定画面まで進んだら、データベースへの接続設定を行います。

- データベースへのログインパスワード(sa パスワード)を設定 → P67
 <[保存先サーバー]の設定画面>



データベースへの接続設定には、sa パスワードの入力が必要です。sa パスワードとは、データベースのインストール時に指定したパスワードです。

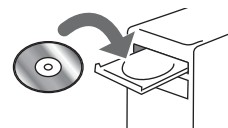
事業所データを使用するユーザーを登録→ヘルプ「ユーザーの登録」

事業所データには、同時に同じユーザー名でログインすることはできません。あらかじめ事業所データを使用するユーザーを登録しておきましょう。ユーザーの登録については、ヘルプ「ユーザーの登録」を参照してください。ヘルプは、弥生販売を起動して(P46)、[ヘルプ]メニューの[目次とキーワード]をクリックすると表示できます。

③ 操作するコンピューター (クライアント) : 2 台目以降

弥生販売の DVD-ROM をセットします。

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 12 を起動して、ライセンス認証(P47)を行います。

ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続 (クライアントとサーバーのデータベース) → P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開きます。サーバーに保存されている事業所データに対して伝票入力や帳票出力などの作業が行えます。

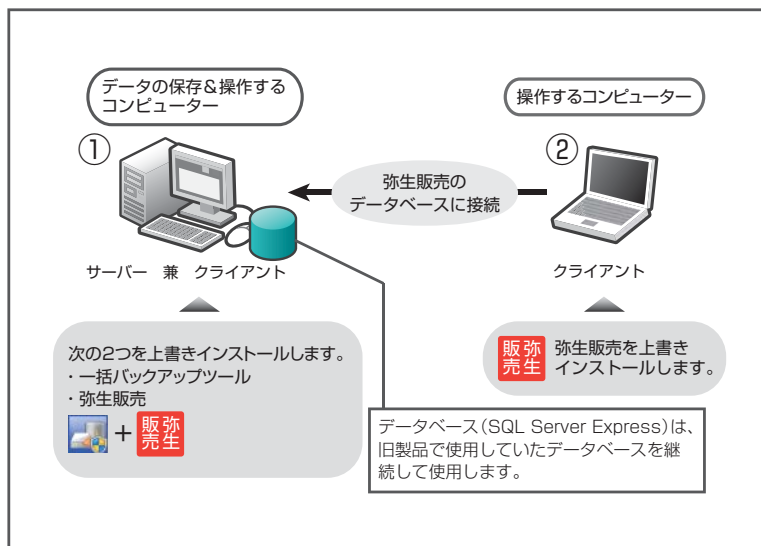
3 旧製品からバージョンアップする場合

弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーと弥生販売ネットワークで、セットアップ方法が異なります。購入された製品のセットアップ方法を参照してください。

製品名	参照先
弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー	P16
弥生販売ネットワーク	P20

3-1 弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合

「データの保存＆操作するコンピューター(サーバー 兼 クライアント)」のセットアップが完了後、「操作するコンピューター(クライアント)」のセットアップを行ってください。



SQL Server 2000(MSDE 2000)のデータベースを使用している場合
SQL Server 2000 (MSDE 2000)は、動作対応外です。SQL Server 2000 をご使用の方は、SQL Server 2008 R2 への移行を行ってください。

→「データベースインストールマニュアル」-「第5章 付録」

👉 セットアップ手順



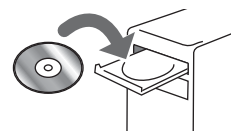
弥生オンラインアップデートから弥生販売 12 をインストールした場合
弥生販売の終了時に表示される[弥生オンラインアップデート]ダイアログ
から弥生販売 12 をインストールした場合は、DVD-ROM から弥生販売を
インストールしていただく必要はありません(「弥生販売のインストール」
の手順は不要)。

弥生販売 12 がインストールされているかどうかの確認は、[ヘルプ]メ
ニューの[バージョン情報]をクリックして表示される[バージョン情報]ダ
イアログで確認できます。

① データの保存&操作するコンピューター (サーバー 兼 クライアント)

弥生販売の DVD-ROM をセット

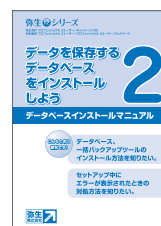
弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットしま
す。画面の指示に従ってインストールします。



一括バックアップツールのインストール

データベースに保存された複数の事業所データを一括してバック
アップすることができる一括バックアップツールをインストールし
ます。一括バックアップツールでは、曜日や時間を指定して自動的に
バックアップすることもできます。

インストール方法については、別冊『データベースインストールマ
ニュアル』-「第 2 章 データベースのセットアップ」を参照してくだ
さい。操作方法については、ヘルプを参照してください。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 12 を起動して、ライセンス認証(P47)とユーザー登録(P56)(ユーザー登録
画面が表示されない場合は、設定不要)を行います。

ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、
一部の使用が制限されます。

事業所データのコンバート → P77

旧製品の事業所データをコンバート(変換)して、弥生販売 12 で使用できるデータに置き換えます。

事業所データとデータベースの接続設定が必要です

コンバートの途中で、コンバートする事業所データとデータベースの接続設定を行う必要があります。詳細は、「事業所データとデータベースの接続設定」(P63)を参照してください。



メモ

事業所データのコンバートは、サーバーでのみ行います。

事業所データのコンバートは、「データの保存＆操作するコンピューター(サーバー兼クライアント)」でのみ行います。後述の「操作するコンピューター(クライアント)」では、事業所データのコンバートは不要です。



帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）のコンバート → P82

弥生販売 11 以前の帳票レイアウトで編集したオリジナルの帳票をコンバートして、弥生販売 12 で使用できるデータに置き換えます。

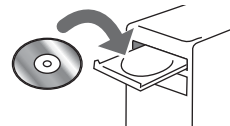


環境設定のコンバート → P86

旧製品で調整した印刷設定などをコンバートして、弥生販売 12 で使用できる環境設定に置き換えます。

② 操作するコンピューター（クライアント）**弥生販売の DVD-ROM をセット**

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。

**弥生販売のインストール → P40**

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 12 を起動して、ライセンス認証(P47)を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（クライアントとサーバーのデータベース） → P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開きます。サーバーに保存されている事業所データに対して伝票入力や帳票出力などの作業が行えます。

帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）のコンバート → P82

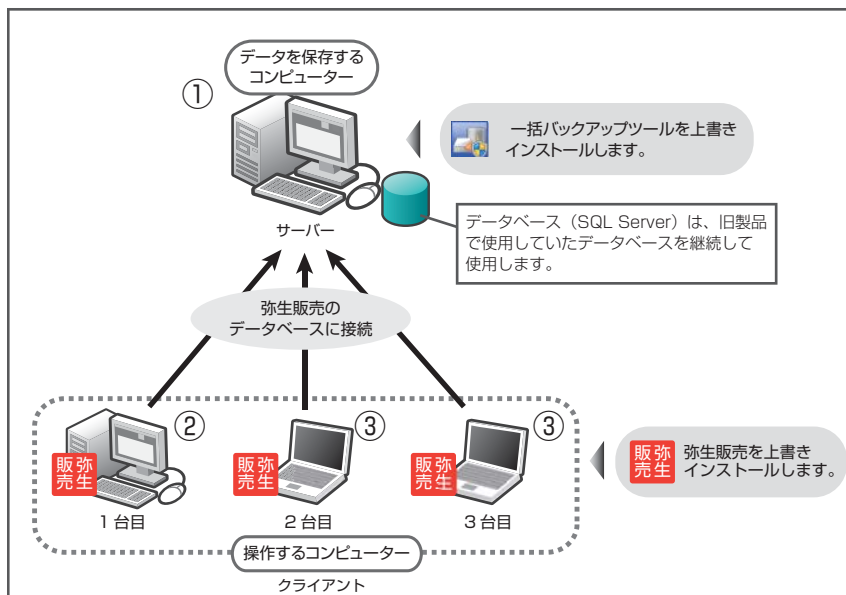
弥生販売 11 以前の帳票レイアウトで編集したオリジナルの帳票をコンバートして、弥生販売 12 で使用できるデータに置き換えます。

環境設定のコンバート → P86

旧製品で調整した印刷設定などをコンバートして、弥生販売 12 で使用できる環境設定に置き換えます。

3-2 弥生販売ネットワークの場合

「データを保存するコンピューター(サーバー)」のセットアップが完了後、「操作するコンピューター(クライアント)」のセットアップを行ってください。



注意

SQL Server 2000(MSDE 2000)のデータベースを使用している場合
SQL Server 2000 (MSDE 2000)は、動作対応外です。SQL Server 2000 をご使用の方は、SQL Server 2008 R2 への移行を行ってください。

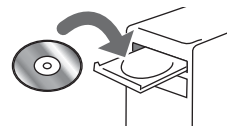
→『データベースインストールマニュアル』-「第5章 付録」

👉 セットアップ手順

① データを保存するコンピューター (サーバー)

弥生販売の DVD-ROM をセット

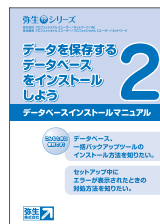
弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



一括バックアップツールのインストール

データベースに保存された複数の事業所データを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。一括バックアップツールでは、曜日や時間を指定して自動的にバックアップすることもできます。

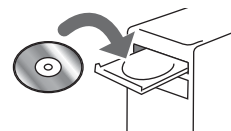
インストール方法については、別冊『データベースインストールマニュアル』-「第2章 データベースのセットアップ」を参照してください。操作方法については、ヘルプを参照してください。



② 操作するコンピューター（クライアント）：1 台目

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 12 を起動して、ライセンス認証 (P47) を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

事業所データのコンバート → P77

旧製品の事業所データをコンバート(変換)して、弥生販売 12 で使用できるデータに置き換えます。

事業所データとデータベースの接続設定が必要です

コンバートの途中で、コンバートする事業所データとデータベースの接続設定を行う必要があります。詳細は、「事業所データとデータベースの接続設定」(P63) を参照してください。



事業所データのコンバートはクライアント(1 台目)でのみ行います

事業所データのコンバートは、「操作するコンピューター(クライアント)：1 台目」でのみ行います。後述の「操作するコンピューター(クライアント)：2 台目以降」では、事業所データのコンバートは不要です。

帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）のコンバート → P82

弥生販売 11 以前の帳票レイアウトで編集したオリジナルの帳票をコンバートして、弥生販売 12 で使用できるデータに置き換えます。

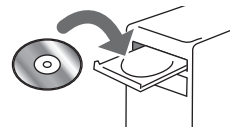
環境設定のコンバート → P86

旧製品で調整した印刷設定などをコンバートして、弥生販売 12 で使用できる環境設定に置き換えます。

③ 操作するコンピューター（クライアント）：2 台目以降

弥生販売の DVD-ROM をセット

弥生販売の DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。画面の指示に従ってインストールします。



弥生販売のインストール → P40

弥生販売をインストールします。

弥生販売の起動 → P46

弥生販売 12 を起動して、ライセンス認証（P47）を行います。
ライセンス認証を行わない場合は、複数台のコンピューターでの運用ができないなど、一部の使用が制限されます。

データベースへの接続（クライアントとサーバーのデータベース） → P70

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開きます。サーバーに保存されている事業所データに対して伝票入力や帳票出力などの作業が行えます。

帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）のコンバート → P82

弥生販売 11 以前の帳票レイアウトで編集したオリジナルの帳票をコンバートして、弥生販売 12 で使用できるデータに置き換えます。



環境設定のコンバート → P86

旧製品で調整した印刷設定などをコンバートして、弥生販売 12 で使用できる環境設定に置き換えます。

2

インストール前の確認

弥生販売 12 を使用するためのシステムや注意事項を説明します。

1 必要なハードウェアとソフトウェア	26
2 弥生販売のシステム構成	32
3 コンピューター名の確認	35

1 必要なハードウェアとソフトウェア

弥生販売を使用するには、次のハードウェアやソフトウェアが必要です。

＜弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー版の場合＞

日本語 OS	Microsoft Windows 7/Vista/XP ※ インターナショナル版・日本語ランゲージパックは動作対象外となります。
Web ブラウザー	Microsoft Internet Explorer 7.0 以降必須
対応機種 (パソコン本体)	上記日本語 OS が稼動するパーソナルコンピューター インテル Pentium III 1GHz 以上(Pentium 4 1.6GHz 以上を推奨)または同等の性能を持つプロセッサ ※ Microsoft SQL Server 2008 R2 Express をインストールする場合 必須: 64 ビット Pentium III 1.4GHz 以上
メモリ	Windows 7: 1GB 以上(32 ビット)/2GB 以上(64 ビット) Windows Vista: 1GB 以上 Windows XP: 512MB 以上(1GB 以上を推奨)
ディスプレイ	本体に接続可能で、上記日本語 OS に対応したディスプレイ 解像度: 1024×768 以上必須、High Color(16 ビット)以上を推奨
ディスクドライブ	DVD-ROM ドライブ必須
ハードディスク	必須空き容量 250MB 以上(データ領域は別途必要) ※ [Microsoft SQL Server 2008 R2 Express] をインストールする場合、 1GB 以上の空き容量が必要です。 ※ インストール時や製品動作時にはシステムドライブに一時ファイル領域が必要になります。
マウス/キーボード	上記日本語 OS で使用可能なマウス / キーボード
日本語入力システム	上記日本語 OS に対応した日本語入力システム ※ 対応している文字コードは、JIS コードの第一水準と第二水準です。 その他の文字コードについては、代替文字または、ひらがなでご入力ください。
プリンター	上記日本語 OS に対応したプリンター ※ インクジェットプリンターについては機種および使用できる専用紙に一部制限があります。ドットインパクトプリンターの場合は 15 インチ連続用紙が使用できるプリンターが必要です。
動作に必要なソフトウェア	本製品および一括バックアップツールの動作には、Windows Installer 3.1 以降および、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。 インストール済みでない場合は本製品またはツールのインストール時に同時にインストールされ、300MB 以上の空き容量が別途必要になります。 なお、Windows Installer 3.1 のインストール時に、再起動が必要になる場合があります。

データベース	Microsoft SQL Server 2008 R2 SP1 Express を本製品同梱のDVD-ROM からインストールすることができます。 < SQL Server 2008 R2 SP1 Express をインストールする際の注意点 > • SQL Server 2008 R2 SP1 Express をインストールするには、Windows Installer 4.5 以降および、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。同梱の SQL Server 2008 R2 SP1 Express からインストールを行う場合は、上記ソフトウェアもインストールされます。 • SQL Server 2008 R2 SP1 Express をインストールする際は、インストール先ドライブに 1GB 以上の空き容量が必要です。 • TCP/IP などのネットワーク設定が正しく行われている必要があります。 • 旧バージョンの SQL Server 及び SQL Server 互換の MSDE がインストールされている環境にはインストールできません。 • 1 事業所データの領域として最大 10GB まで使用可能です。 ※ データベースを外付けハードディスクドライブなどにインストールすると接続の不安定や動作遅延によるエラーが発生し、データが破損の原因となります。内蔵のローカルハードディスクドライブへインストールしてください。
その他	• 日本語 OS について Windows 7 と表記されているものは、Windows 7 Ultimate / Enterprise / Professional / Home Premium / Starter (SP1 含む)の略称です。 Windows Vista と表記されているものは、Windows Vista Ultimate / Enterprise / Business / Home Premium / Home Basic SP2 以降(32 ビット版のみ)の略称です。 Windows XP と表記されているものは、Windows XP Professional / Home Edition SP3 以降(32 ビット版のみ)の略称です。 • 64 ビット OS での動作について Windows Vista、Windows XP は 64 ビット版には対応しておりません。 Windows 7(64 ビット)では、WOW64 の環境で動作します。 • Excel への書き出し機能を利用する場合 集計表などのデータを Excel に書き出す場合は、Microsoft Excel 2003 以降が別途必要になります。 • メール送信機能を利用する場合 台帳、帳票から電子メールソフトを起動する場合は、Microsoft Outlook 2003以降または、Windows メール、Windows Live メールのいずれかが、通常使用する電子メールのプログラムとして設定されている必要があります。 ※Microsoft Outlook Express は対応しておりません。 • 導入アドバイザーを利用する場合 導入アドバイザーを「オートモード」(音声あり)で利用する場合には音声を再生できる環境が必要です。 • 筆まめ連動機能を利用する場合 「筆まめ Ver.2.2」または、「筆まめ Ver.2.1」が別途必要になります。 • マルチユーザー機能を利用する場合 1 事業所データを LAN 環境で同時に利用できるユーザー数:最大 5 台まで(プロフェッショナルのみ対応) • インターネット環境について インターネットに接続できる環境が必要です。 • ネットワーク環境について 有線 LAN 環境での運用を推奨します。

＜弥生販売 ネットワークの場合＞

	サーバー	クライアント	
日本語 OS	Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Windows Server 2008 R2 Foundation SP1 Windows Server 2008 Foundation SP2 Windows Server 2008 SP2(32 ビット / 64 ビット版対応) Windows Server 2003 R2 SP2(32 ビット版対応) Windows Server 2003 SP2(32 ビット版対応) Windows Small Business Server 2003 R2 SP1 Windows Small Business Server 2003 SP2	Windows 7 Ultimate SP1 以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows 7 Enterprise SP1 以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows 7 Professional SP1 以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows 7 Home Premium SP1以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows 7 Starter SP1 以降 Windows 7 Ultimate (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows 7 Enterprise (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows 7 Professional (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows 7 Home Premium (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows 7 Starter Windows Vista Ulitimate SP2 以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows Vista Enterprise SP2 以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows Vista Business SP2 以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows Vista Home Premium SP2 以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows Vista Home Basic SP2 以降 (32 ビット / 64 ビット版対応) Windows XP Professional SP3(32 ビット版対応) Windows XP Home Edition SP3	
	※ インターナショナル版・日本語ランゲージパックは動作対象外となります。		
Web ブラウザー	Microsoft Internet Explorer 7.0 以降必須		
対応機種 (パソコン本体)	上記日本語 OS が稼動するパーソナルコンピュータ インテル Pentium Ⅲ 1GHz 以上(Pentium 4 1.6GHz 以上を推奨)または同等の性能を持つプロセッサ ※ Microsoft SQL Server 2008 R2 Express をインストールする場合 必須:64 ビット Pentium Ⅲ 1.4GHz 以上	上記日本語 OS が稼動するパーソナルコンピュータ インテル Pentium Ⅲ 1GHz 以上 (Pentium 4 1.6GHz 以上を推奨)または同等の性能を持つプロセッサ	
メモリ	1GB 以上(4GB 以上を推奨)	Windows 7	1GB 以上(32 ビット) / 2GB以上(64ビット)
		Windows Vista	1GB 以上
		Windows XP	512MB 以上 (1GB 以上を推奨)
ディスプレイ	本体に接続可能で、上記日本語 OS に対応したディスプレイ 解像度: 1024×768 以上必須、High Color(16 ビット)以上を推奨		
ディスクドライブ	DVD-ROM ドライブ必須		

	サーバー	クライアント
ハードディスク	Microsoft SQL Server 2008 R2 Standard をインストールする場合、3.2GB 以上の空き容量が必要です。 ※データ領域は別途必要 ※一括バックアップツールをインストールする場合、20MB 以上の空き容量が別途必要です。 ※インストール時や製品動作時にはシステムドライブに一時ファイル領域が必要になります。	必須空き容量 250MB 以上(データ領域は別途必要) ※インストール時や製品動作時にはシステムドライブに一時ファイル領域が必要になります。
マウス/キーボード	上記日本語 OS で使用可能なマウス / キーボード	
日本語入力システム	上記日本語 OS に対応した日本語入力システム ※対応している文字コードは、JIS コードの第一水準と第二水準です。 その他の文字コードについては、代替文字または、ひらがなでご入力ください。	
プリンター	上記日本語 OS に対応したプリンター ※インクジェットプリンターについては機種および使用できる専用用紙に一部制限があります。ドットインパクトプリンターの場合は 15 インチ連続用紙が使用できるプリンターが必要です。	
動作に必要なソフトウェア	本製品および一括バックアップツールの動作には、Windows Installer 3.1 以降、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。 インストール済みでない場合は本製品のインストール時に同時にインストールされ、300MB 以上の空き容量が別途必要になります。Windows Installer 3.1 のインストール時に、再起動が必要になる場合があります。	

	サーバー	クライアント
データベース	Microsoft SQL Server 2008 R2、SQL Server 2008 または SQL Server 2005 が必要です。 Microsoft SQL Server 2008 R2 SP1 Standard を本製品同梱の DVD-ROM からインストールすることができます。 <Microsoft SQL Server 2008 R2 SP1 Standardをインストールする際の注意点> • with SQL 製品に同梱されている SQL Server 2008 R2 SP1 Standard は「ランタイム(制限使用)ライセンス」です。弥生以外のアプリケーションでの使用、テーブルの追加などはできません。 - また、CPU が 4 基を超えるサーバーでのご使用は、別途 SQL Server 2008 R2 Enterprise、SQL Server 2008 Enterprise または SQL Server 2005 Enterprise Edition が必要になります。 • for SQL 製品の場合は、別途 SQL Server 2008 R2、SQL Server 2008 または SQL Server 2005 が必要です。また、あらかじめ弥生製品用のインスタンスを作成する必要があります。作成方法については、製品マニュアルを必ずご参照ください。 • SQL Server 2008 R2 SP1 Standard をインストールするには、Windows Installer 4.5 以降および、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。同梱の SQL Server 2008 R2 SP1 Standard からインストールを行う場合は、上記ソフトウェアもインストールされます。 • SQL Server 2008 R2 SP1 Standard をインストールするには、インストール先ドライブに 3.2GB 以上、システムドライブに 2.2GB 以上の空き容量があることをご確認ください。 • TCP/IP などのネットワーク設定が正しく行われている必要があります。 • 旧バージョンの SQL Server 及び SQL Server 互換の MSDE などがインストールされている環境にはインストールできません。	※TCP/IP などのネットワーク設定が正しく行われている必要があります。
VPN/WAN 環境で利用する場合	Citrix XenApp 5.0/6.0、Citrix Presentation Server 4.5、または Windows Server 2008 R2 搭載のリモート デスクトップ サービス、Windows Server 2008 搭載の Windows ターミナル サービスが必要です。 これらのクライアントとして使用できる動作環境は、上記のクライアント環境と同様です。 リモート デスクトップ サービス /Windows ターミナル サービス上で印刷を行う場合は、ネットワークプリンタを指定してください。ローカルプリンタでの印刷は対応しておりません。	

	サーバー	クライアント
その他	64 ビット OS での動作について Windows Vista、Windows XP は 64 ビット版には対応しておりません。 Windows 7(64 ビット)では、WOW64 の環境で動作します。 「導入アドバイザー」を利用する場合 「導入アドバイザー」を「オートモード」(音声あり)で利用する場合には、音声を再生できる環境が必要です。 - Excel への書き出し機能を利用する場合 集計表などのデータを Excel に書き出す場合は、Microsoft Excel 2003 以降が別途必要になります。 - メール送信機能を利用する場合 台帳、帳票から電子メールソフトを起動する場合は、Microsoft Outlook 2003 以降または、Windows メール、Windows Live メールのいずれかが、通常使用する電子メールのプログラムとして設定されている必要があります。 ※Microsoft Outlook Express は対応しておりません。 - インターネット環境について インターネットに接続できる環境が必要です。 - ネットワーク環境について 有線 LAN 環境での運用を推奨します。	

- 詳細については弊社カスタマーセンターへお問い合わせください。

- 弥生販売を使用するには、次のユーザー権限が必要です。

Windows 7 で使用する場合: 標準ユーザー (Users グループ) 以上

Windows Vista で使用する場合: 標準ユーザー (Users グループ) 以上

Windows XP で使用する場合: 制限ユーザー (Users グループ) 以上



印刷に関する注意

- 弥生販売で印刷を行った際に以下のような現象が発生した場合、お使いのプリンターまたは、プリンタードライバーが原因の可能性があります。最新のプリンタードライバーを入手してください。詳細はプリンターのマニュアルを参照するか、プリンターメーカーにお問い合わせください。
 - 罫線が欠落する、または罫線がずれる
 - 網かけが途中で途切れる、または塗りつぶされる
 - 特定の箇所だけ印字されずに抜けてしまう
 - 特定の文字列で文字化けが起こる
 - 印字位置がずれて次ページに送られてしまう
- ネットワーク上のプリンターを利用する場合の設定方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。

PDF ファイルの作成には「Microsoft XPS Document Writer」が必要です

印刷ダイアログで「PDF ファイルの作成」を選択して PDF を作成するには、プリンターの一覧に「Microsoft XPS Document Writer」が登録されている必要があります。「Microsoft XPS Document Writer」がない場合は「プリンターの追加」で追加してください。プリンターの追加方法については Windows のヘルプを参照してください。

2 弥生販売のシステム構成

弥生販売プロフェッショナル2ユーザー、弥生販売ネットワークでは、弥生販売の事業所データへ複数台のコンピューターから同時に接続して、伝票入力や帳票出力を行うことができます。

複数台のコンピューターから弥生販売を使用するためには、コンピューターを「サーバー」と「クライアント」に役割を分担して、各コンピューターにプログラムをセットアップする必要があります。どのコンピューターを「サーバー」「クライアント」にするのか弥生販売をインストールする前に決めておきましょう。

サーバーとクライアント

本書では、次の役割をするコンピューターを「サーバー」または「クライアント」と記載しています。

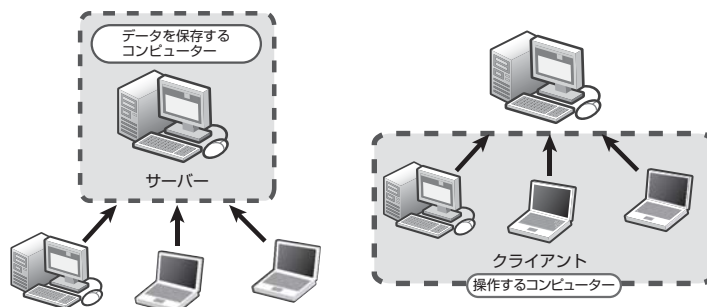
- サーバー

弥生販売のデータを保存するためのデータベースがインストールされているコンピューターをサーバーといいます。弥生販売のデータを保存する役割をします。サーバーには、スペック(性能)の高いコンピューターを使用することをお勧めします。

※ 弥生販売ネットワークの場合は、サーバー用の OS を搭載したコンピューターを使用してください。対応 OS については、「必要なハードウェアとソフトウェア」(P26)を参照してください。

- クライアント

サーバーのデータベースにアクセスして、弥生販売を操作するコンピューターをクライアントといいます。弥生販売を操作する役割をします

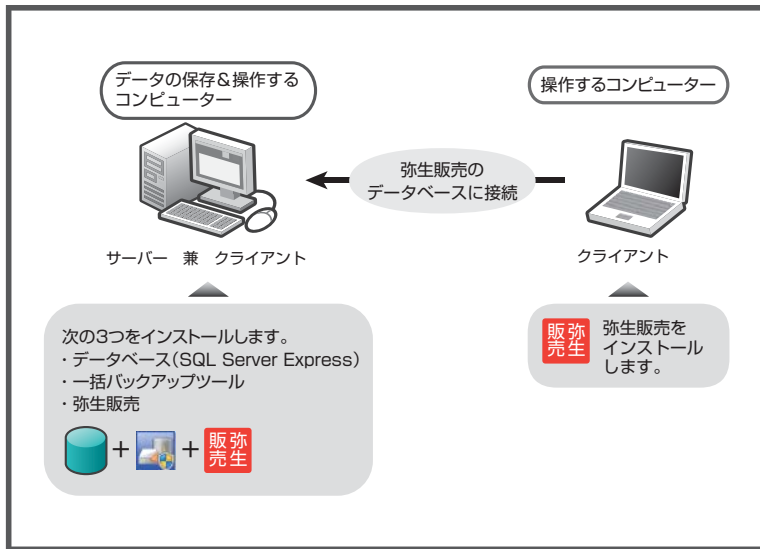


まずは、「データを保存するコンピューター（サーバー）」と「操作するコンピューター（クライアント）」を決めましょう。



2-1 弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーのシステム構成

弥生販売で使用するコンピューターを 2 台決めます。



1 台を「データの保存&操作するコンピューター(サーバー兼クライアント)」、残りの 1 台を「操作するコンピューター(クライアント)」として使用します。

● データの保存&操作するコンピューター(サーバー兼クライアント)

弥生販売の「データを保存するコンピューター(サーバー)」と「弥生製品を操作するコンピューター(クライアント)」の 2 つの役割を担います。

このコンピューターには、「データベース(SQL Server Express)」「一括バックアップツール」「弥生販売」をインストールします。

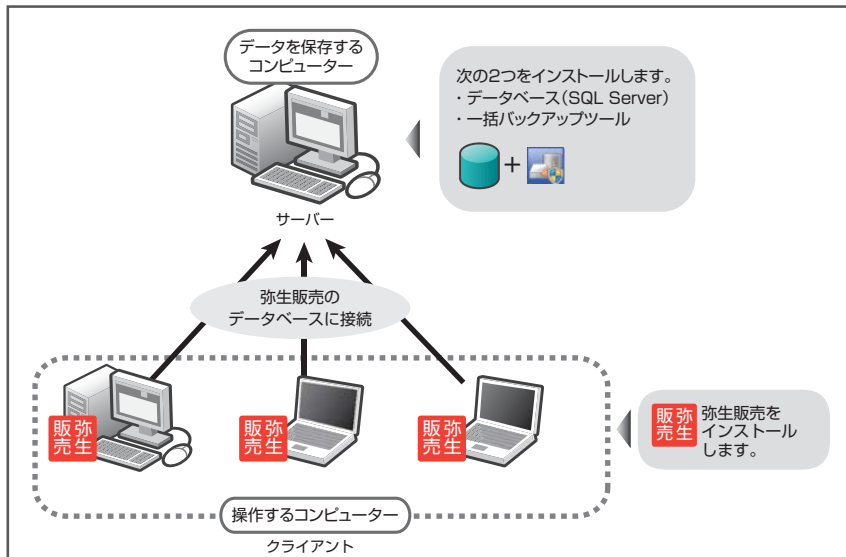
● 操作するコンピューター(クライアント)

弥生販売を操作するコンピューターとして使用します。

このコンピューターには、「弥生販売」のみをインストールします。

2-2 弥生販売ネットワークのシステム構成

複数台のクライアントコンピューターから、サーバーに保存されている弥生販売のデータベースに接続します。これにより、複数台のコンピューターから同じデータに対して、伝票入力や帳票出力などの作業を同時に行うことができます。



弥生販売ネットワークでは 1 台を「データを保存するコンピューター(サーバー)」、残りのコンピューターを「操作するコンピューター(クライアント)」として使用します。

● データを保存するコンピューター(サーバー)

弥生販売のデータを保存するための専用コンピューター(サーバー)として使用します。このコンピューターには、「データベース(SQL Server)」「一括バックアップツール」をインストールします。

● 操作するコンピューター(クライアント)

弥生製品を操作するコンピューターとして使用します。
このコンピューターには、「弥生販売」のみをインストールします。

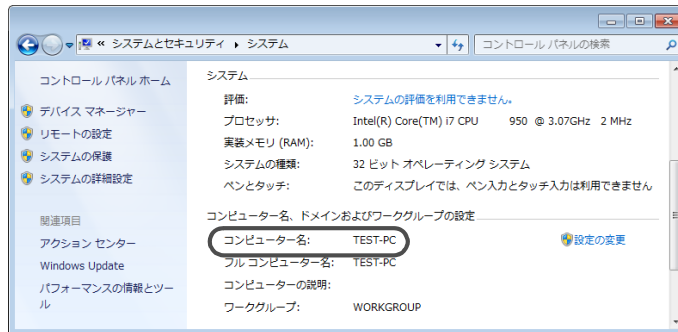
3 コンピューター名の確認

コンピューター名の確認方法について説明します。

弥生製品の各設定時に、コンピューター名の入力または選択が、必要になることがあります。コンピューター名を確認しておきましょう。

☞ コンピューター名を確認する

1. データベースが保存されているコンピューター(サーバー)を起動します。
2. Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックします。
3. [システムとセキュリティ]をクリックして、[システム]をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 の場合は、[システムとメンテナンス]をクリックして、[システム]をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックして、[システム]をクリックします。
4. コンピューターの名前を確認します。



< Windows 7/Vista/Server 2008 の場合 >

表示されたシステム画面の[コンピューター名]に表示されているのが、コンピューター(サーバー)の名前です。

< Windows XP/Server 2003 の場合 >

[コンピュータ名]タブをクリックします。

[変更]ボタンをクリックします。表示された画面の[コンピュータ名]に表示されているのが、コンピューター(サーバー)の名前です。

5. 確認したコンピューター(サーバー)の名前を「覚え書き(メモ)」「P2)へ記入しておきます。

例えば、[コンピューター名]に[TEST-PC]と表示されている場合の事業所データが保存されているコンピューター(サーバー)の名前は、「TEST-PC」です。

3

データベースのインストール

データを保存するコンピューター(サーバー)にデータベースをインストールします。

1 データベースのインストール	38
-----------------------	----

1 データベースのインストール

初めて弥生販売を導入する場合は、弥生販売の事業所データを保存するコンピュータ（サーバー）に、データベースをインストールする必要があります。



メモ

データベースをインストールするコンピューター

データベースは、次のコンピューターにインストールします。

- ・ 弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合
P33の図「データの保存&操作するコンピューター（サーバー兼クライアント）」
- ・ 弥生販売ネットワークの場合
P34の図「データを保存するコンピューター（サーバー）」

データベースをインストールした後は、「YAYOI インスタンスの確認」「一括バックアップツールのインストール」を行ってください。

データベースのインストール

日々の販売データを保存するための、データベース（SQL Server）をインストールします。

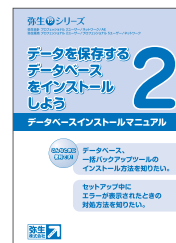
YAYOI インスタンスの確認

データベース（SQL Server）の YAYOI インスタンスが起動していることを確認します。

一括バックアップツールのインストール

データベースのデータを一括してバックアップすることができる一括バックアップツールをインストールします。

詳細は、別冊『データベースインストールマニュアル』－「第2章 データベースのセットアップ」を参照してください。



4

弥生販売のインストール

操作するコンピューター(クライアント)に弥生販売のプログラムをインストールします。

1 弥生販売のインストール	40
2 弥生販売の起動	46
3 ライセンス認証と認証解除	47
4 ユーザー登録 <プロフェッショナル 2 ユーザーのみ> ...	56
5 導入アドバイザー	57

1 弥生販売のインストール

弥生販売を操作するコンピューター(クライアント)に「弥生販売 12」をインストールします。



メモ

弥生オンラインアップデートから弥生販売 12 をインストールした場合
＜弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーのみ＞

弥生販売の終了時に表示される[弥生オンラインアップデート]ダイアログから弥生販売 12 をインストールした場合は、DVD-ROM から弥生販売をインストールしていただく必要はありません。([弥生販売のインストール]の作業は不要です。)

弥生販売 12 がインストールされているかどうかの確認は、[ヘルプ]メニューの[バージョン情報]をクリックして表示される[バージョン情報]ダイアログの[バージョン情報]で確認できます。

インストールする前に

弥生販売をインストールする前に、次の項目を確認してください。

- ハードディスクの空き容量

ハードディスクの空き容量が 250MB 以上必要(データ領域は別途必要)です。なお、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 をインストールする場合は、別途300MB 以上の空き容量が必要になります。空き容量が足りない場合は、不要なファイルを削除するなどして空き容量を確保してからインストールしてください。

- インストールするユーザーの権限

弥生販売 12 のインストールには、管理者(Administrators グループ)権限が必要です。

- 現在、弥生販売 11 を使用している場合

弥生販売 12 をインストールしても、現在使用中のデータが削除されることはありません。

ただし、インストール中のトラブルに備えて、インストール前に現在使用しているデータのバックアップファイルを作成してください。バックアップファイルの作成方法については、ご使用の製品のマニュアルを参照してください。



メモ

「新しい製品が既にインストールされています。」と表示された場合

インストール時に「このセットアップより新しい製品が既にインストールされています。インストールすることはできません」と表示された場合は、現在インストールされている弥生販売 12 をアンインストール(削除)してから、再度本製品のインストールを実行してください。アンインストール(削除)方法については、「プログラムの修復と削除」(P93)を参照してください。

弥生販売 12 インストールランチャー

DVD-ROM ドライブに弥生販売 12 の DVD-ROM をセットすると、[弥生販売 12 インストールランチャー]が表示されます。弥生販売はこの画面からインストールします。

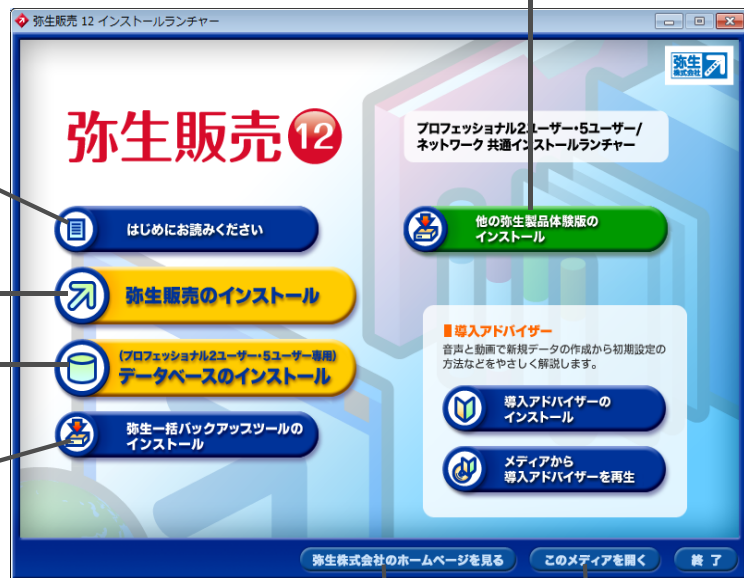
弥生 12 シリーズの体験版のインストール画面が表示されます。

インストール前の注意事項などが表示されます。インストールする前にお読みください。

弥生販売のインストールが開始されます。

『データベースインストールマニュアル』参照。
※弥生販売ネットワークでは使用しません。

『データベースインストールマニュアル』参照。



インターネット接続ができる状態であれば、弊社ホームページがご覧いただけます。

DVD-ROM の内容が表示されます。



メモ

[弥生販売 12 インストールランチャー]が表示されない場合

次の手順で弥生販売 12 インストールランチャーを表示してください。

- 1.Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[コンピューター] (または[マイコンピュータ])をクリックします。
- 2.弥生販売 12 の DVD-ROM をセットしたドライブのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから[開く]をクリックします。
- 3.[Start] ファイルをダブルクリックします。

弥生販売のインストール

☞ 弥生販売 をインストールする

1. 起動しているすべてのプログラムを終了します。
インストールを始める前に、すべてのプログラムを終了してください。特に、常駐プログラムが動作していると、正しくインストールできない場合があります。
2. DVD-ROM ドライブに弥生販売 12 の DVD-ROM をセットします。
[弥生販売 12 インストールランチャー]が表示されます。

3. [弥生販売のインストール]をクリックします。

コンピューターをチェックして、インストールが必要な項目と、そのインストール状況が表示されます。

4. 表示された[弥生シリーズセットアップ]画面で、[インストール開始]ボタンをクリックします。

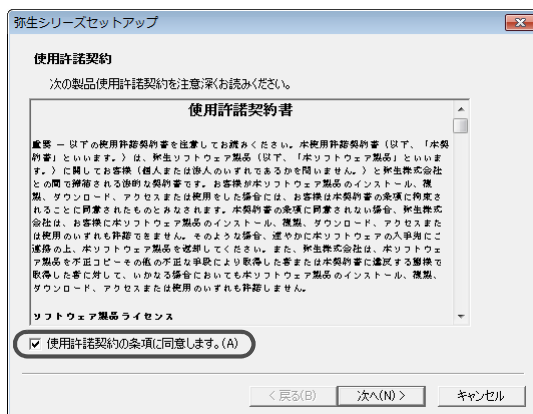
表示される項目は、コンピューターの OS や環境により異なります。



再起動を促すメッセージが表示された場合

インストールの途中で再起動を促すメッセージが表示された場合は、DVD-ROM を取り出さずに指示に従って再起動し、インストール開始時と同じユーザーで Windows にログインしてください。ログイン後は[弥生シリーズセットアップ]画面が自動的に表示されるので、[インストール開始]ボタンをクリックして、インストールを再開します。

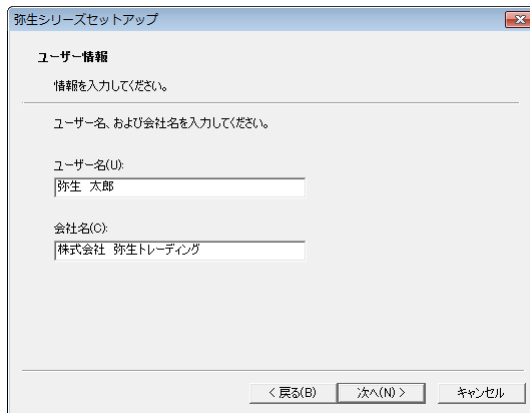
5. 使用許諾契約書を読み、内容に同意いただける場合は、[使用許諾契約の条項に同意します]にチェックを付けて、[次へ]ボタンをクリックします。



6. ユーザー名と会社名を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

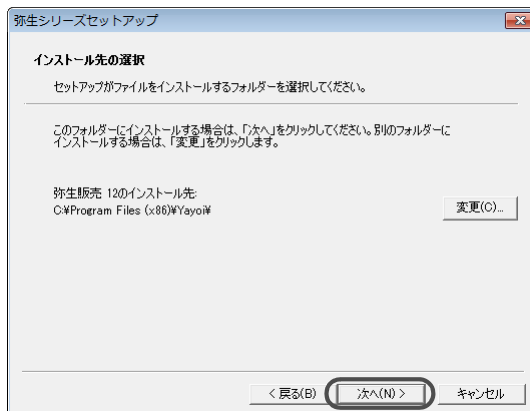
両方の入力が必要です。

ここで入力したユーザー名と会社名はインストールで必要となる情報です。弥生販売のデータでは使用されません。

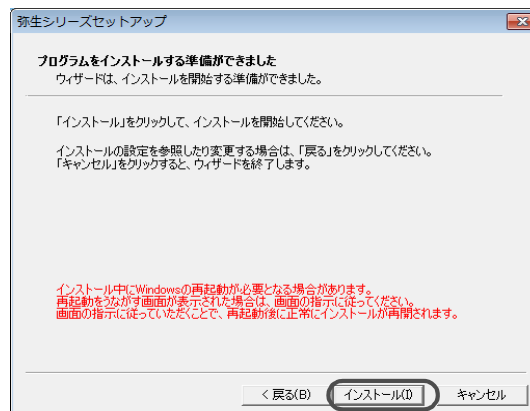


7. 弥生販売をインストールする場所(フォルダー)を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

インストール先を変更する場合は、[変更]ボタンをクリックしてインストールする場所を選択します。



8. [インストール]ボタンをクリックしてインストールを開始します。
.NET Framework 3.5 SP1 をインストールする場合、インストールが完了するまで 30 分程度かかる場合があります。



9. メッセージ「引き続き、導入アドバイザーをインストールしますか？」が表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。



導入アドバイザーのインストールが不要な場合

導入アドバイザーは、事業所データの新規作成から日常業務の開始までを動画と音声でご案内するツールです。導入アドバイザーのインストールが不要な場合は、次の手順で操作します。

この操作を行っても、弥生販売のインストールは正常に完了しています。

メッセージ「引き続き、導入アドバイザーをインストールしますか？」で「はい」ボタンをクリックします。

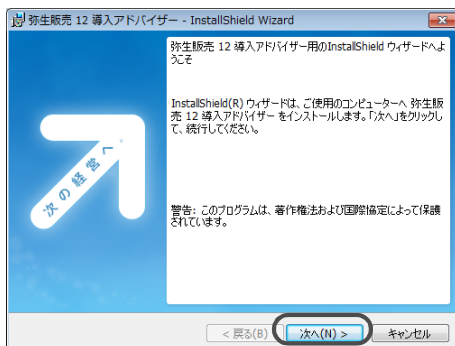
「弥生シリーズセットアップ」画面に戻るので、「キャンセル」ボタンをクリックします。

メッセージ「インストールを中止しますか？」が表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

導入アドバイザーは、弥生販売 12 インストールランチャーから、いつでもインストールできます。

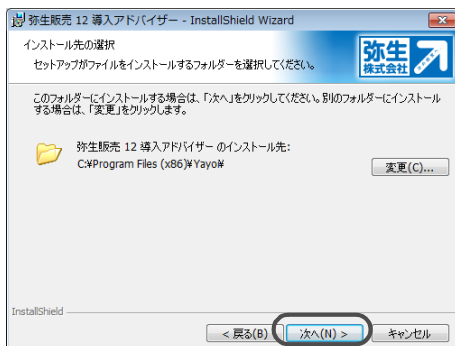
→導入アドバイザー(P57)

10.表示された「ようこそ」画面で、「次へ」ボタンをクリックします。

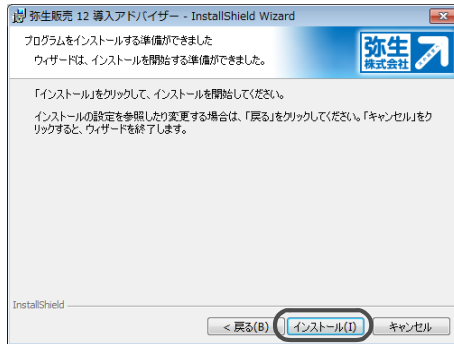


11.導入アドバイザーをインストールする場所(フォルダー)を確認して、「次へ」ボタンをクリックします。

インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストールする場所を選択します。



12. [インストール] ボタンをクリックしてインストールを開始します。
導入アドバイザーがインストールされます。



13. インストールが終了したら、ウィザードの完了画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

14. [弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。
再起動を促す画面が表示された場合は、必ず再起動してください。



15. DVD-ROM ドライブから DVD-ROM を取り出します。

DVD-ROMを取り出す前に、[完了] ボタンをクリックして [弥生シリーズセットアップ] 画面を必ず閉じてください。

インストール後、デスクトップに以下のアイコンが作成されます。



弥生販売 12

弥生販売を起動します。



弥生販売 12 データコンバータ

データをコンバートします (P75)。

弥生販売の最初の起動時には、ライセンス認証やユーザー登録 (ユーザー登録画面が表示されない場合は、設定不要) を行ってください。

→ ライセンス認証と認証解除 (P47)

→ ユーザー登録 <プロフェッショナル 2 ユーザーのみ> (P56)

2 弥生販売の起動

弥生販売の起動

弥生販売は、Windows の[スタート]メニュー、またはインストール時に作成されるショートカットアイコンから起動します。

● [スタート]メニューから起動

Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]を選択し、[弥生シリーズ]－[弥生販売 12]－[弥生販売 12]をクリックします。

● ショートカットアイコンから起動

デスクトップに作成されている弥生販売のショートカットアイコンをダブルクリックします。



弥生販売を初めて起動した場合

必要に応じて次の画面が表示されます。また、最初は起動に時間がかかることがあります。

- [ライセンス認証]画面(P47)
- ユーザー登録画面 <プロフェッショナル 2 ユーザーのみ>(P56)

セキュリティソフトの警告メッセージが表示される場合

弥生製品の起動時にセキュリティソフトの警告メッセージが表示された場合は、弥生製品に関するプログラムの通信を許可してください。

許可するプログラムについては、『はじめにお読みください』の「セキュリティプログラムの通信許可の設定」を参照してください(Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[弥生シリーズ]－[弥生販売 12]－[はじめにお読みください]をクリックして表示)。

3 ライセンス認証と認証解除

3-1 ライセンス認証について

弥生販売をご使用いただくには、正規の弥生販売であることを確認するためにライセンス認証を行い、弥生販売のライセンスとご使用のコンピューターを結びつける必要があります。また、1 台のコンピューターにつき 1 つのライセンスが必要です。ライセンス認証の手続きは、弥生販売の初回起動時から 30 日以内に行ってください。

弥生販売のインストール後にライセンス認証を行わないと、以下の制限が発生します。

- 初回起動時から 30 日が経過すると、弥生販売を使用できなくなります。
- 起動時に[ライセンス認証]画面が毎回表示されます。
- 複数台での運用を行うことができません。

30 日を経過した場合でも、起動時に表示される[ライセンス認証]画面でライセンス認証を行うことにより、引き続き弥生販売を使用することができますが、ライセンス認証はインストール後すぐに行うようにしてください。



コンピューターを買い替える場合などには認証解除を行ってください

弥生販売をアンインストール(削除)する場合だけでなく、不具合などによりコンピューターをフォーマットする場合や、買い替えなどによりコンピューターを入れ替える場合も事前にライセンス認証の解除が必要です。解除を行ってから製品のアンインストール(削除)やフォーマット、新しいコンピューターへの入れ替えを行ってください。

→ライセンス認証の解除を行う(P52)

3-2 ライセンス認証を行う

ライセンス認証では、ライセンス認証サーバーへの接続のため、インターネットへの接続確認を必ず行います。インターネットを利用していない場合は、接続確認を行った後に表示される画面を経て、インターネットを使わない方法でライセンス認証を行うこともできます。

→インターネットに接続できない場合(P50)



ライセンス認証管理ツールでライセンス認証を行う

弥生製品のライセンス認証は、Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[弥生シリーズ]－[ライセンス認証管理ツール]をクリックすると表示されるライセンス認証管理ツールでも行うことができます。ライセンス認証管理ツールでは、複数の弥生製品のライセンス認証を、連続的に行うこともできます。

👉 ライセンス認証を行う<弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合>

1. [ライセンス認証]画面で[ライセンス認証を開始する]ボタンをクリックします。

ライセンス認証 (弥生販売 12) Ver 4.0.0

弥生製品をご使用いただくには、正規の弥生製品であることを確認するためにライセンス認証を行う必要があります。

ライセンス認証を開始する

ライセンス認証を行い、正規の弥生製品としての利用を開始する場合は、左のボタンをクリックしてください。

今は認証しない

今はライセンス認証を行わない、または体験版としての利用を開始する場合は、左のボタンをクリックしてください。

弥生製品登録番号の入力画面が表示されます。



弥生販売 11 がインストールされている場合

弥生販売 11 がインストールされている場合は、弥生製品登録番号などの情報を引き継ぎ、入力画面を表示せずにインターネットへの接続を行います。引き継いだ情報でライセンス認証が行えない場合は、改めて入力画面が表示されます。

2. 弥生製品登録番号などを入力します。

番号の確認方法は、入力欄の下に表示されます。ユーザー登録済またはあんしん保守サポート加入済の場合は、マイページ(<http://www.yayoi-kk.co.jp/ist/11/dealing/mypage.html>)で確認できます。

ライセンス認証 (弥生販売 12)

弥生製品登録番号を入力してください。

弥生製品登録番号

弥生製品登録番号の確認方法

店頭で購入した製品はディスクのケース、弊社より発送した製品は発送用の箱に同梱されている文書、ダウンロード販売で購入した製品は購入時の電子メールで確認できます。ユーザー登録が完了している製品や弊社より発送した製品は、[マイページ](#)でも確認できます。

入力欄の下に、番号の確認方法が表示されます。

弥生販売の弥生製品登録番号を入力し、正しい番号であることが確認されると、「製品シリアル番号」の入力画面、「お客様番号」の入力画面、「入手方法の選択」画面のいずれかが表示されます。

入手方法の選択画面が表示された場合は、画面の説明を確認し、入手方法を選択すると選択に応じて、「製品シリアル番号」の入力画面または「お客様番号」の入力画面が表示されます。



⚠️が表示された場合

入力した番号に誤りがあると、入力欄が赤くなり、⚠️と説明文が表示されます。この場合は、入力内容を再確認してください。

3. [処理を開始する]ボタンをクリックします。

必要な情報をすべて入力すると[処理を開始する]ボタンが表示されます。
このボタンをクリックすると、インターネットへの接続確認を行った上でライセンス認証サーバーに接続し、ライセンス認証が行われます。

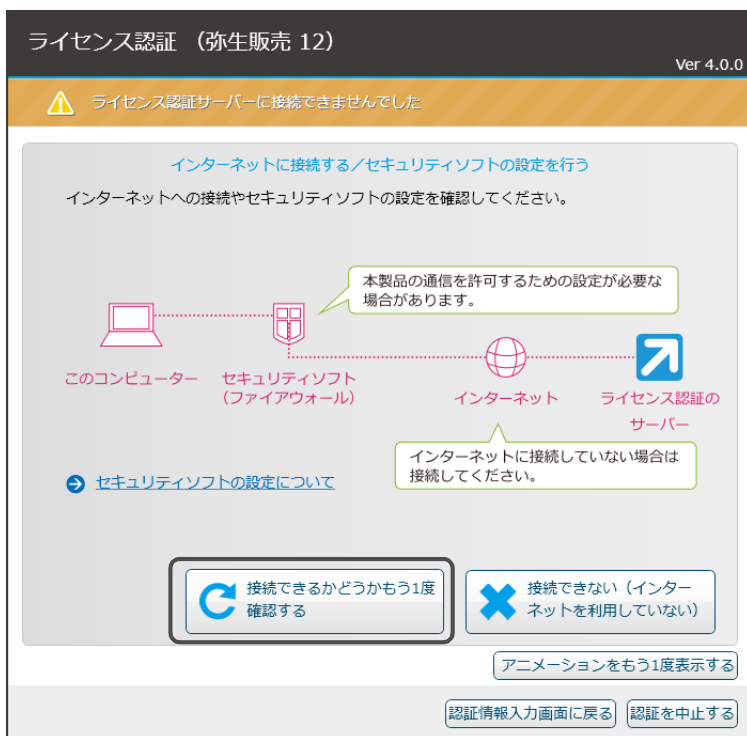
4. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

「ライセンス認証の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



インターネットに接続できない場合

ライセンス認証は、インターネットを通じてライセンス認証サーバーに接続します。サーバーに接続できない場合、[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面が表示されるので、画面の説明に従って、インターネットへの接続やセキュリティソフトの設定の確認を行い、[接続できるかどうかもう1度確認する]ボタンをクリックします。



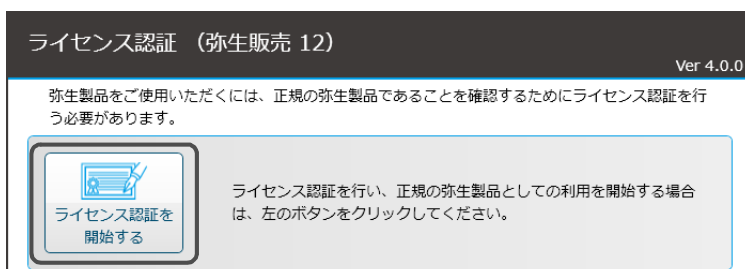
[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合

[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面で[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合、認証方法を選択する画面が表示されます。画面の説明を参考に、認証方法を選択してください。



ライセンス認証を行う<弥生販売ネットワークの場合>

1. [ライセンス認証]画面で[ライセンス認証を開始する]ボタンをクリックします。



弥生製品登録番号の入力画面が表示されます。

2. 弥生製品登録番号を入力します。

番号の確認方法は、入力欄の下に表示されます。マイページ(<http://www.yayoi-kk.co.jp/ist/11/dealing/mypage.html>)でも確認できます。

ライセンス認証 (弥生販売 12)

弥生製品登録番号を入力してください。

弥生製品登録番号

[弥生製品登録番号の確認方法](#)

店頭で購入した製品はディスクのケース、弊社より発送した製品は発送用の箱に同梱されている文書、ダウンロード販売で購入した製品は購入時の電子メールで確認できます。ユーザー登録が完了している製品や弊社より発送した製品は、[マイページ](#)でも確認できます。

入力欄の下に、番号の確認方法が表示されます。



⚠ が表示された場合

入力した番号に誤りがあると、入力欄が赤くなり、⚠ と説明文が表示されます。この場合は、入力内容を再確認してください。

3. [登録を開始する]ボタンをクリックします。

弥生製品登録番号を入力し、正しい番号であることが確認されると、[登録を開始する]ボタンが表示されます。

ライセンス認証 (弥生販売 12) Ver 4.0.0

弥生製品登録番号

弥生製品登録番号を確認できました。下の [登録を完了する] ボタンをクリックして登録を完了してください。

登録を完了する

4. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

「ライセンス認証の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

ライセンス認証 (弥生販売 12) Ver 4.0.0

① ライセンス認証の手続きが完了しました

ライセンス認証を行っていただきましてありがとうございました。手続きが正常に完了しました。
[画面を閉じる] ボタンをクリックすると、ライセンス認証の画面を閉じます。

画面を閉じる

弥生販売 12のライセンス認証を完了して画面を閉じる場合は、左のボタンをクリックしてください。

3-3 ライセンス認証の解除を行う

弥生販売をアンインストール(削除)する場合には、事前にライセンス認証の解除が必要です。解除を行う前に弥生販売をアンインストール(削除)すると、別のコンピュータで弥生販売を使用できなくなります。

ライセンス認証の解除が必要なケース

ライセンス認証の解除は、以下のような場合に行います。これらの作業を行う前にライセンス認証の解除を行ってください。

- 弥生販売をアンインストール(削除)する場合
- コンピューターを買い替えて、弥生販売を新しいコンピュータにインストールする場合
- 弥生販売を他のコンピュータにインストールし直す場合
- Windows を再インストール(またはリカバリ)する場合
- コンピューターをフォーマット(初期化)する場合

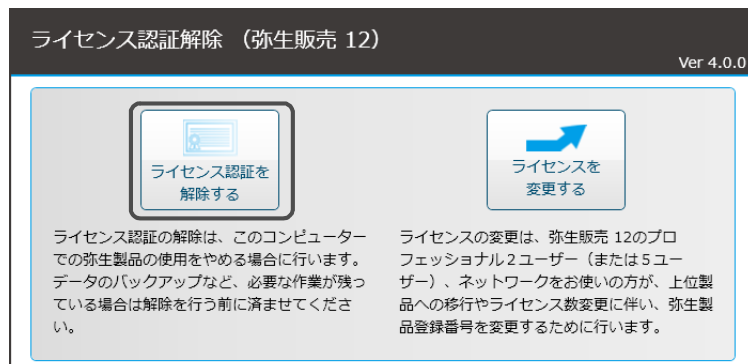
ライセンス認証の解除を行う<弥生販売プロフェッショナル ユーザーの場合> 2



ライセンス認証を解除する前に

ライセンス認証の解除を行うと、弥生販売を使用できなくなります。ライセンス認証の解除を行う前には、事業所データのバックアップなど必要な作業を行ってください。

1. Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[弥生シリーズ]－[弥生販売 12]－[ライセンス認証解除]をクリックします。
[ライセンス認証解除]画面が表示されます。
2. [ライセンス認証を解除する]ボタンをクリックします。
ライセンス認証サーバーに接続し、ライセンス認証解除が行われます。



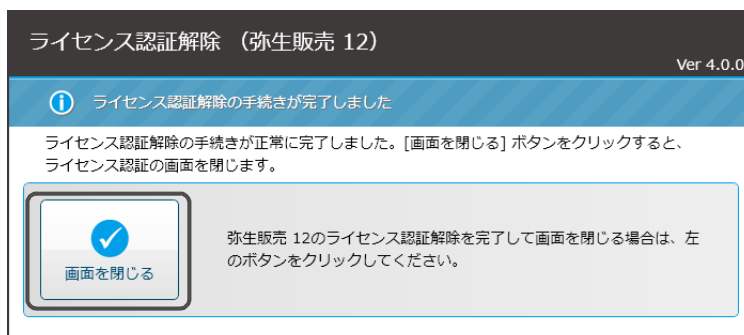


ライセンスの変更

上位製品への移行やライセンス数の変更に伴い新しい弥生製品登録番号が発行された場合は、この画面で[ライセンスを変更する]ボタンをクリックしてライセンスの変更を行うことができます。
ライセンスの変更では、ライセンス認証の解除と新しい弥生製品登録番号によるライセンス認証を一連の手順で行います。

3. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

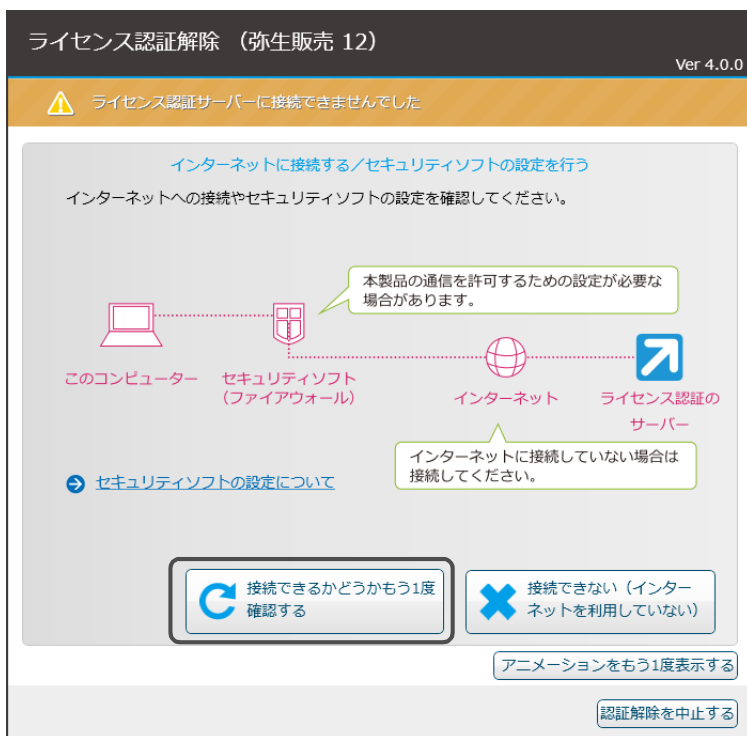
「ライセンス認証解除の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。





インターネットに接続できない場合

ライセンス認証解除は、インターネットを通じてライセンス認証サーバーに接続します。サーバーに接続できない場合、[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面が表示されるので、画面の説明に従って、インターネットへの接続やセキュリティソフトの設定の確認を行い、[接続できるかどうかもう1度確認する]ボタンをクリックします。



[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合

[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面で[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合、認証解除方法を選択する画面が表示されます。画面の説明を参考に、認証解除方法を選択してください。



ライセンス認証の解除を行う<弥生販売ネットワークの場合>



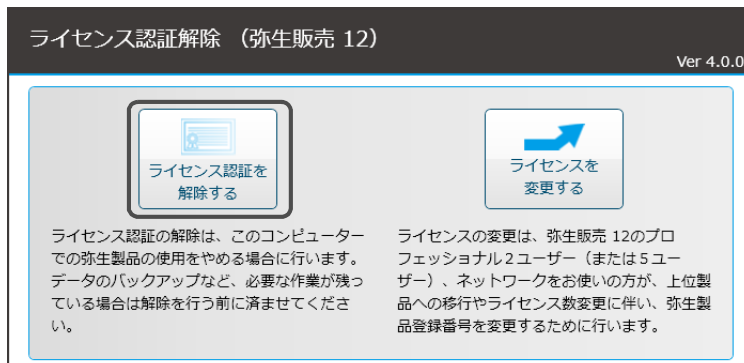
ライセンス認証を解除する前に

ライセンス認証の解除を行うと、弥生販売を使用できなくなります。ライセンス認証の解除を行う前には、事業所データのバックアップなど必要な作業を行ってください。

1. Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[弥生シリーズ]－[弥生販売 12]－[ライセンス認証解除]をクリックします。
[ライセンス認証解除]画面が表示されます。

2. [ライセンス認証を解除する]ボタンをクリックします。

ライセンス認証解除が行われます。



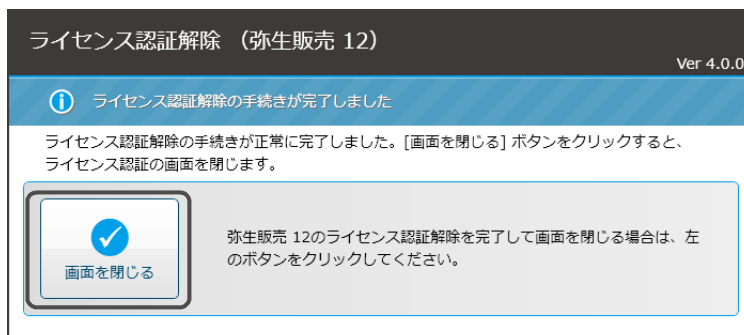
ライセンスの変更

ライセンス数の変更に伴い新しい弥生製品登録番号が発行された場合は、この画面で[ライセンスを変更する]ボタンをクリックしてライセンスの変更を行うことができます。

ライセンスの変更では、ライセンス認証の解除と新しい弥生製品登録番号によるライセンス認証を一連の手順で行います。

3. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

「ライセンス認証解除の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



4 ユーザー登録

<プロフェッショナル 2 ユーザーのみ>

ユーザー登録が行われていない場合、ライセンス認証完了後や弥生販売の起動後にユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録は、インターネットへ接続できる場合はインターネットで、接続できない場合は電話やFAXで行うことができます。弥生製品を複数で利用の場合は、製品ごとにユーザー登録が必要です。

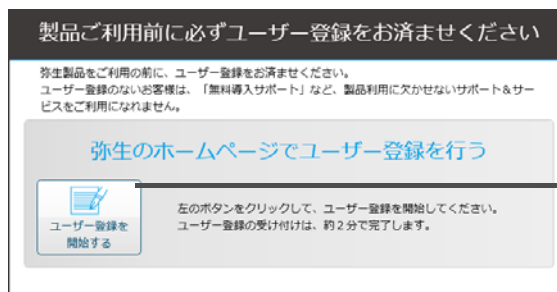


ユーザー登録が不要な場合

弥生ストアで購入した製品や、あんしん保守サポートによって入手した製品をお使いの場合は、ユーザー登録がありません。

ユーザー登録を行う

1. 弥生販売を起動します(P46)。
ユーザー登録画面が表示されます。
※ [弥生ライセンス認証] 画面が表示された場合は、ライセンス認証の手続きを行ってください(P47)。
2. 画面の指示に従って、インターネットでユーザー登録を行います。



「ユーザー登録を開始する」ボタンをクリックして、インターネットで登録します。

ユーザー登録完了後には、お客様番号などが発行され、「登録完了のお知らせ」が通知されます。



インターネットに接続していない場合

インターネットに接続していないなどの理由で弥生のサーバーに接続できない場合、ユーザー登録の状態が確認できないため、ユーザー登録画面が一定回数の起動時に表示されます。また、この場合はユーザー登録画面に電話またはFAXでユーザー登録を行う方法の案内が表示されます。

5 導入アドバイザー

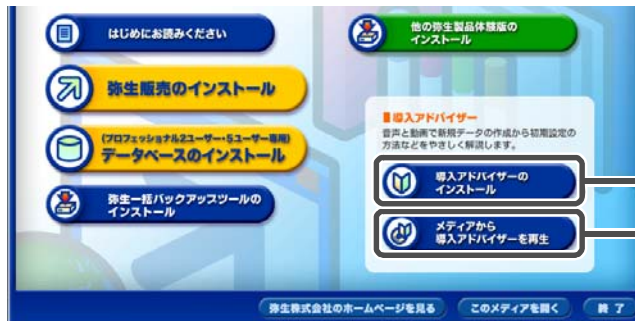
導入アドバイザーは、事業所データの新規作成から日常業務の開始までを動画と音声でご案内します。弥生販売 12のDVD-ROMから直接再生することができますが、ハードディスクにインストールすればいつでも再生することができます。

ハードディスクにインストールする

導入アドバイザーをハードディスクにインストールする場合は、ハードディスクの空き容量が 30MB 以上必要です。

導入アドバイザーをインストールする

1. 起動しているすべてのプログラムを終了します。
特に、常駐プログラムが動作していると、正しくインストールできない場合があります。
2. DVD-ROM ドライブに弥生販売 12 の DVD-ROM をセットします。
[弥生販売 12 インストールランチャー]が表示されます。
3. [導入アドバイザーのインストール]をクリックします。



導入アドバイザーをハードディスクにインストールします。

DVD-ROM から直接導入アドバイザーが再生されます。

4. 表示される画面の指示に従って、導入アドバイザーをインストールします。
5. インストールが終了したら、[弥生シリーズセットアップ]画面が表示されるので、[完了]ボタンをクリックします。

インストールした導入アドバイザーは、次のいずれかの方法で再生できます。

- デスクトップの[弥生販売 12 導入アドバイザー]アイコンをダブルクリックする。
- Windows の[スタート]ボタンをクリックしてスタートメニューを表示し、[すべてのプログラム] - [弥生シリーズ] - [弥生販売 12] - [弥生販売 12 導入アドバイザー]をクリックする。

DVD-ROM から再生する

弥生販売 12インストールランチャーの[メディアから導入アドバイザーを再生]をクリックすると、導入アドバイザーが再生されます。

5

データベースへの接続設定

弥生販売を使用するには、弥生販売の事業所データを保存するデータベースを指定して、事業所データとデータベースを接続する必要があります。事業所データとデータベースの接続設定について説明します。

- 1 データベースへの接続設定 60
- 2 クライアントからサーバーに接続する 70

1 データベースへの接続設定

1-1 データベースへの接続設定の流れ

データベースと弥生販売をインストールした後は、伝票や帳票を保存する事業所データを作成します。事業所データの作成時には、データベースの接続設定を行います。接続設定を行うと、指定したデータベースに事業所データが保存されるようになります。

また、複数台のコンピューターからサーバーの事業所データにアクセスして、伝票入力や帳票出力などの作業を行うためには、他のコンピューター（クライアント）からサーバーのデータベースを参照させる設定を行います。

ここでは、次の接続設定の流れを説明します。

- 事業所データを保存するデータベースの選択と接続設定
- クライアントからサーバーのデータベースに保存されている事業所データを参照する設定

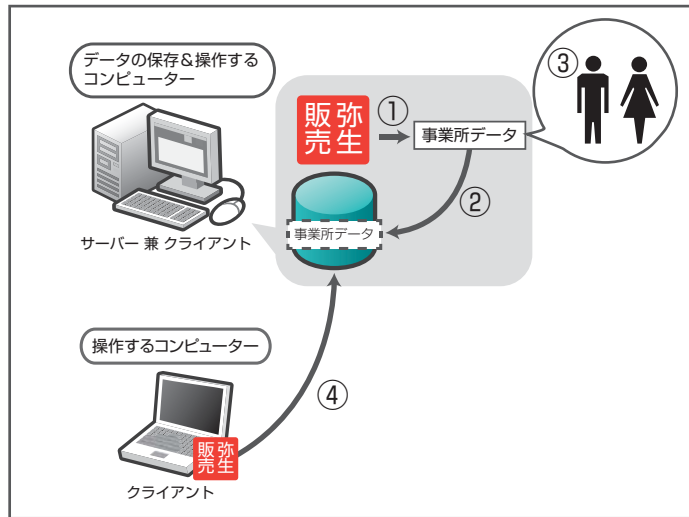
接続設定の流れ

弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーと弥生販売ネットワークで、接続設定を行うコンピューターが異なります。購入された製品の接続設定の流れを参照してください。

製品名	参照先
弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザー	P61
弥生販売ネットワーク	P62

● 弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合

次の手順で事業所データとデータベースの接続設定を行います。



データの保存&操作するコンピューター（サーバー 兼 クライアント）

①事業所データの作成 → P63

次のいずれかの方法で弥生販売から事業所データを作成します。

<初めて弥生販売を導入する場合>

- ・ 事業所データを新規作成する

<旧製品からバージョンアップする場合>

- ・ 事業所データを新規作成する
- ・ 旧製品の事業所データをコンバートする
- ・ 事業所データのバックアップデータを復元する

②データベースの選択とパスワードの設定 → P67

事業所データの作成時に、事業所データを保存するデータベースの選択と接続設定を行います。データベースの接続設定では、データベースのインストール時に設定した sa パスワードの入力が必要です。

データベースのログインパスワード(sa パスワード)の設定し忘れにご注意ください。設定していない場合は、「サーバーにアクセスできませんでした」のエラーメッセージが表示され、弥生販売を使用できません。必ず設定を行ってください。

③事業所データを使用するユーザーを登録→ヘルプ「ユーザーの登録」

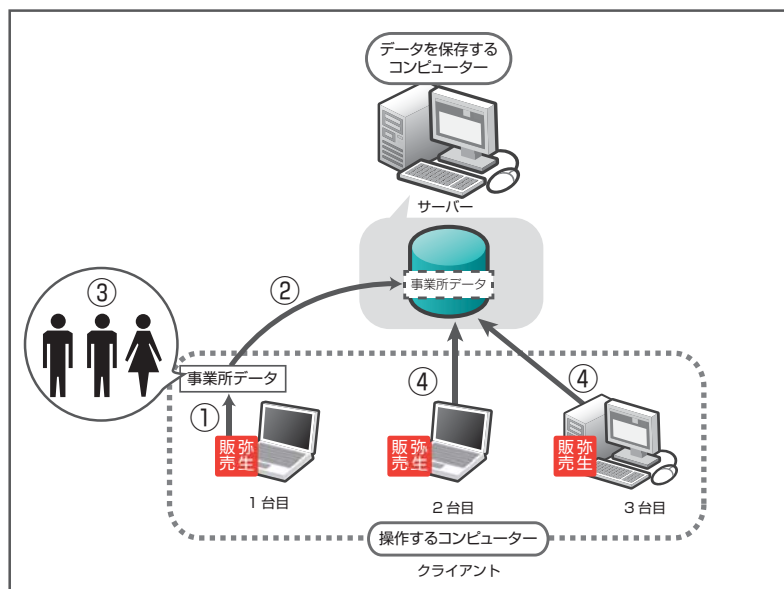
事業所データには、同時に同じユーザー名でログインすることはできません。あらかじめ事業所データを使用するユーザーを登録しておきましょう。ユーザーの登録については、ヘルプ「ユーザーの登録」を参照してください。ヘルプは、弥生販売を起動して(P46)、[ヘルプ]メニューの[目次とキーワード]をクリックすると表示できます。

操作するコンピューター（クライアント）

④クライアントからサーバーのデータベースに接続して事業所データを開く → P70
クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを参照します。

● 弥生販売ネットワークの場合

次の手順で事業所データとデータベースの接続設定を行います。



操作するコンピューター（クライアント）：1 台目

①事業所データの作成 → P63

次のいずれかの方法で弥生販売から事業所データを作成します。

<初めて弥生販売を導入する場合>

- 事業所データを新規作成する

<旧製品からバージョンアップする場合>

- 事業所データを新規作成する
- 旧製品の事業所データをコンバートする
- 事業所データのバックアップデータを復元する

②データベースの選択とパスワードの設定 → P67

事業所データの作成時に、事業所データを保存するデータベースの選択と接続設定を行います。データベースの接続設定では、データベースのインストール時に設定した sa パスワードの入力が必要です。

データベースのログインパスワード(sa パスワード)の設定し忘れにご注意ください。設定していない場合は、「サーバーにアクセスできませんでした」のエラーメッセージが表示され、弥生販売を使用できません。必ず設定を行ってください。

③事業所データを使用するユーザーを登録→ヘルプ「ユーザーの登録」

事業所データには、同時に同じユーザー名でログインすることはできません。あらかじめ事業所データを使用するユーザーを登録しておきましょう。ユーザーの登録については、ヘルプ「ユーザーの登録」を参照してください。ヘルプは、弥生販売を起動して(P46)、[ヘルプ] メニューの[目次とキーワード]をクリックすると表示できます。

操作するコンピューター（クライアント）：2 台目以降**④クライアントからサーバーのデータベースに接続して事業所データを開く → P70**

クライアントからサーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを参照します。

1-2 事業所データとデータベースの接続設定

弥生販売を使用するには、始めに弥生販売の伝票や帳票を保存する事業所データを作成します。

事業所データの作成では、事業所データを保存するデータベースの選択と接続設定を行います。接続設定を行うと接続したデータベースに事業所データが保存されるようになります。

次のいずれかの方法で、事業所データとデータベースを接続します。

導入ケース	方法
初めて弥生販売を導入する場合	事業所データの新規作成(P64)
旧製品からバージョンアップする場合	- 事業所データの新規作成(P64) - 旧製品から事業所データをコンバート(P65) - 事業所データのバックアップファイルを復元する(P66)



作業するコンピューター

次のコンピューターで事業所データとデータベースの接続設定を行います。

- ・ 弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合
P33の図「データの保存&操作するコンピューター(サーバー兼クライアント)」
- ・ 弥生販売ネットワークの場合
P34の図「データを保存するコンピューター(サーバー)」

事業所データの新規作成

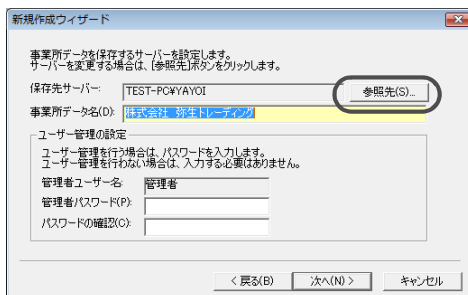
☞ 事業所データを新規作成して、接続設定する

1. 弥生販売を起動します(P46)。
2. クイックナビゲータの[スタート]タブの[データの新規作成]をクリックするか、[ファイル]メニューの[新規作成]をクリックします。
[新規作成ウィザード]が表示されます。[次へ]ボタンをクリックして次へ進めます。

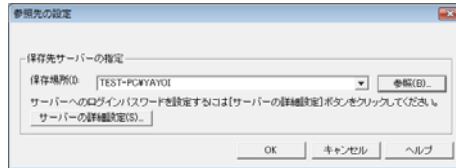


事業所データの新規作成についての詳細は、別冊『操作マニュアル』を参照してください

3. 表示される画面の指示に従って、[保存先サーバー] の設定画面まで進めます。
[参照先] ボタンをクリックします。



4. [参照先の設定] ダイアログが表示されます。

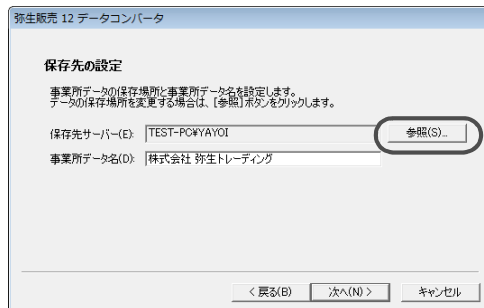


以降の操作は、「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)の手順を行ってください。

旧製品から事業所データをコンバート

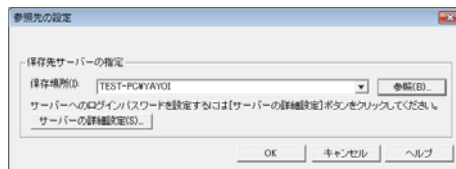
☞ 事業所データをコンバートして、接続設定する

1. 弥生販売が起動している場合は、終了します。
2. Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[弥生シリーズ]－[弥生販売 12]－[弥生販売 12 データコンバータ]をクリックします。
[弥生販売 12 コンバータ]が起動します。
3. コンバートするデータの種類を選択して、[データの選択]の設定画面で[参照]ボタンをクリックします。



事業所データのコンバートの詳細は、「事業所データのコンバート」(P77)を参照してください。

4. [参照先の設定] ダイアログが表示されます。

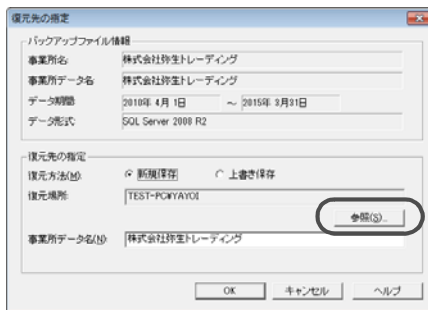


以降の操作は、「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)の手順を行ってください。

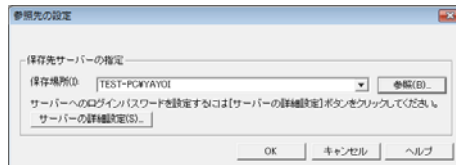
事業所データのバックアップファイルを復元する

☞ バックアップファイルを復元して、接続設定をする

1. 弥生販売が起動していない場合は、弥生販売を起動します。
2. [ファイル]メニューの[バックアップファイルの復元]をクリックします。
[バックアップファイルの復元]ダイアログが表示されます。
3. [参照]ボタンをクリックして、復元するバックアップデータを選択します。
バックアップファイルの復元方法については、ヘルプ「事業所データのバックアップ」を参照してください。
4. [復元先の指定]画面で[参照]ボタンをクリックします。
[参照先の設定]ダイアログが表示されます。



5. [参照先の設定]ダイアログが表示されます。



以降の操作は、「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)の手順を行ってください。

1-3 ログインパスワード(sa パスワード)の設定

事業所データとデータベースを接続するには、[参照先の設定] ダイアログで、事業所データの保存先となるサーバーのデータベースを指定して、データベースのインストール時に設定した sa パスワードを入力します。



準備しておきましょう

手順を行う前に、次の内容を準備しておきましょう。
「覚え書き(メモ)」(P2)も参考にしてください。

- サーバーのコンピューター名(P35)
- データベースの sa パスワード
データベースのインストール時に設定したパスワード
→『データベースインストールマニュアル』-「第 2 章 データベースのセットアップ」

sa パスワードを変更した場合<弥生販売ネットワークのみ>

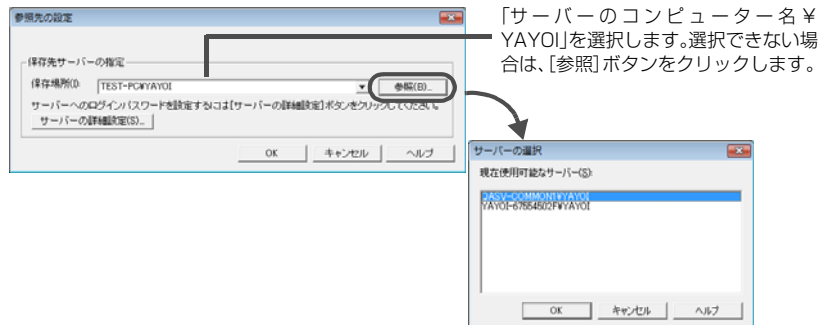
SQL Server Management Studio で sa パスワードを変更した場合は、ログインパスワードの設定も変更する必要があります。

1. [参照先の設定] ダイアログを表示します。

2. [保存場所] で「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を選択します。

コンピューター名が「TEST-PC」の場合、[保存場所] は「TEST-PC¥YAYOI」になります。

選択するサーバーが表示されない場合は[参照] ボタンをクリックして、[サーバーの選択] ダイアログで選択します。





選択するサーバーが表示されない場合

[サーバーの選択] ダイアログの一覧にサーバーが表示されない場合は、サーバーにデータベースがインストールされていることをネットワーク管理者に確認してください。

- インストールされている場合
[参照先の設定] ダイアログの[保存場所]に「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を直接入力してください。
- インストールされていない場合
サーバーにデータベースをインストールしてください。

サーバーのコンピューター名の確認方法

サーバーのコンピューター名を確認する方法については、「コンピューター名の確認」(P35)を参照してください。

3. [サーバーの詳細設定]ボタンをクリックします。

[サーバーの詳細設定] ダイアログが表示されます。



4. データベースへのログインユーザーを設定します。

[サーバーにログインするユーザーを指定する]にチェックを付けて、指定するユーザー名と、ログイン時のパスワードを入力します。

[ユーザー名]に「sa」、または既に設定されているユーザー名を入力し、データベースのインストール時に指定した sa パスワード、または既に設定されているデータベースパスワードを入力します。

重要

下記の画面で設定したパスワードをここに入力します。

データベースのインストールでデータベースの管理者パスワード(sa パスワード)を設定する画面
→『データベースインストールマニュアル』-「第2章 データベースのセットアップ」
※「覚え書き(メモ)」(P2)も参考にしてください。

データベースパスワードの入力

データベースの管理者(sa)パスワードを設定します。
你生製品のデータを開くときにこのパスワードが必要になります。

パスワードの入力(P) *****

入力規則

- 1: 8 文字以上
- 2: 次の 4 種類の文字種のうち 3 種類の文字を含む
 - ・英大文字 (A ~ Z)
 - ・英小文字 (a ~ z)
 - ・数字 (0 ~ 9)
 - ・記号 (!, @, #, \$, %, ^, &, *, ~, _)

英数字以外の文字

5. 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックします。

6. [参照先の設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

引き続き、事業所データを設定してください。



エラーメッセージが表示された場合

[参照先の設定] で正しい [保存場所] を入力し、[サーバーの詳細設定] で正しい [パスワード] を入力したにもかかわらず、[サーバーにアクセスできません。] というメッセージが表示された場合は、『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照して確認を行ってください。

2 クライアントからサーバーに接続する

事業所データとデータベースの接続設定(P63)が終了した後は、操作するコンピュータ(クライアント)から、サーバーのデータベースに保存された事業所データを参照させる設定を行います。

サーバーのデータベースに接続して、データベースに保存されている事業所データを開くと、複数台のコンピュータから同時に事業所データを操作できるようになります。



準備しておきましょう

手順を行う前に、次の内容を準備しておきましょう。
「覚え書き(メモ)」(P2)も参考にしてください。

- ・サーバーのコンピュータ名(P35)
- ・データベースの sa パスワード
データベースのインストール時に設定したパスワード
→『データベースインストールマニュアル』-「第 2 章 データベースのセットアップ」

sa パスワードを変更した場合<弥生販売ネットワークのみ>

SQL Server Management Studio で sa パスワードを変更した場合は、ログインパスワードの設定も変更する必要があります。



クライアントからサーバーのデータベースに接続して、事業所データを開く

1. 弥生販売を操作するコンピュータを起動します。
2. 弥生販売を起動します(P46)。
 - ※ サーバーにアクセスできない(設定されていない)などのエラーメッセージが表示された場合は、[OK]ボタンをクリックしてください。
3. [ファイル]メニューから[開く]をクリックします。
4. [事業所データの選択]ダイアログの[参照先]ボタンをクリックします。
[参照先の設定]ダイアログが表示されます。
 - ※ サーバーにアクセスできない(設定されていない)などのエラーメッセージが表示された場合は、[OK]ボタンをクリックしてください。

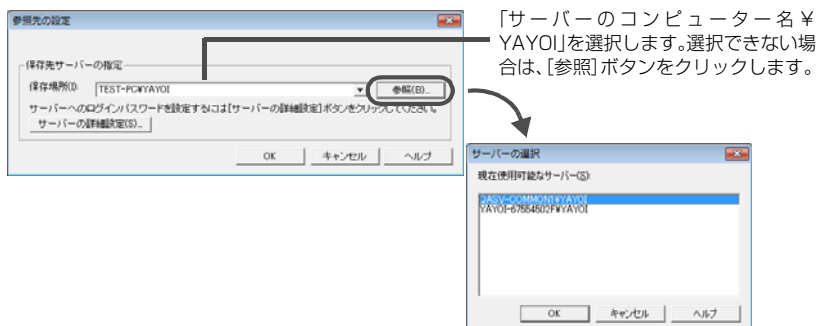


5. [保存場所]で「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を選択します。

サーバーのコンピューター名は、「コンピューター名の確認」(P35)でメモしておいたコンピューターの名前です。

例えば、メモしておいたコンピューターの名前が「TEST-PC」の場合、[保存場所]は「TEST-PC¥YAYOI」になります。

選択するサーバーが表示されない場合は[参照]ボタンをクリックして、[サーバーの選択]ダイアログで選択します。



選択するサーバーが表示されない場合

[サーバーの選択]ダイアログの一覧にサーバーが表示されない場合は、サーバーにデータベースがインストールされていることをネットワーク管理者に確認してください。

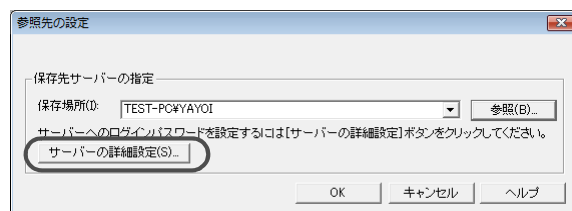
- インストールされている場合
[参照先の設定]ダイアログの[保存場所]に「サーバーのコンピューター名¥YAYOI」を直接入力してください。
- インストールされていない場合
サーバーにデータベースをインストールしてください。

サーバーのコンピューター名の確認方法

サーバーのコンピューター名を確認する方法については、「コンピューター名の確認」(P35)を参照してください。

6. [サーバーの詳細設定]ボタンをクリックします。

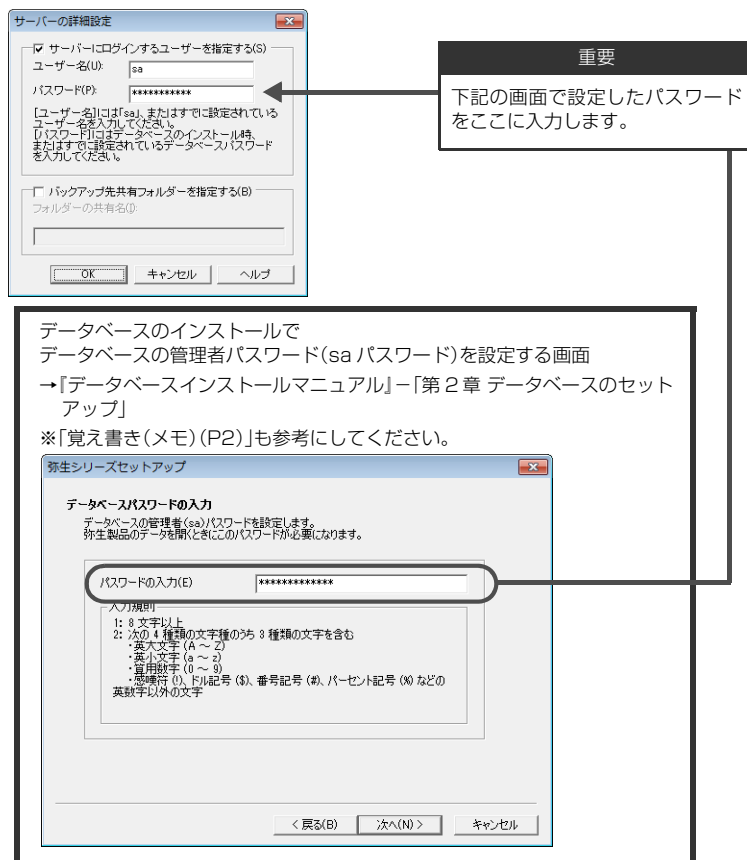
[サーバーの詳細設定]ダイアログが表示されます。



7. データベースへのログインユーザーを設定します。

[サーバーにログインするユーザーを指定する]にチェックを付けて、指定するユーザー名と、ログイン時のパスワードを入力します。

[ユーザー名]に「sa」、または既に設定されているユーザー名を入力し、データベースのインストール時に指定した sa パスワード、または既に設定されているデータベースパスワードを入力します。



8. 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックします。

9. [参照先の設定] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。



エラーメッセージが表示された場合について

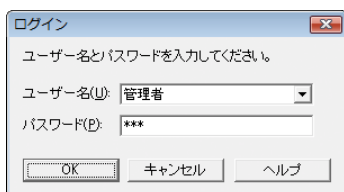
「サーバーにアクセスできませんでした。」というエラーメッセージが表示された場合は、いくつかの原因が考えられます。対処方法については、『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照してください。

10. 事業所データを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



11. [ログイン] ダイアログが表示されます。ユーザー名を選択し、パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。

管理者にパスワードを設定していない、または、他のユーザーを登録していない場合は、[ログイン] ダイアログは表示されません。



6

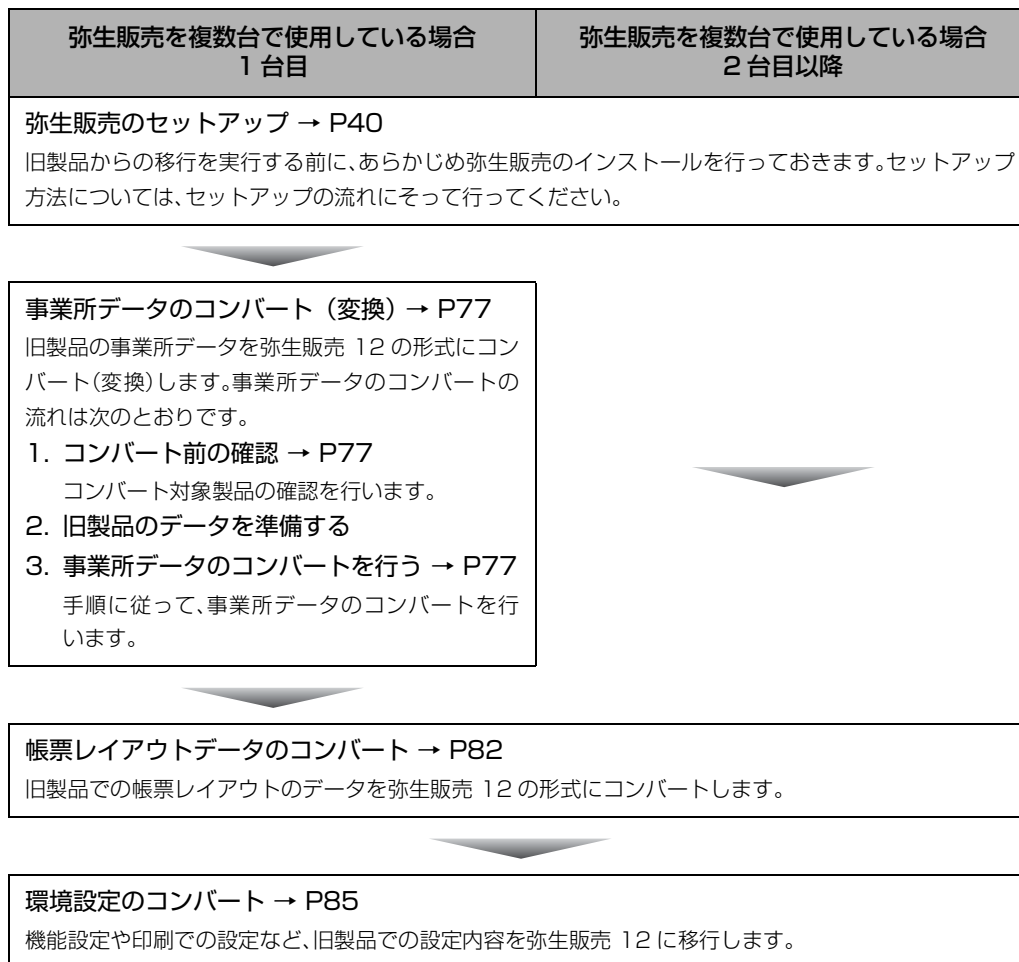
旧製品からの移行

旧製品の弥生販売の事業所データを弥生販売 12 で使用するには、データをコンバート(変換)する必要があります。

この章では、旧製品の弥生販売の事業所データをコンバートする手順について説明します。

1 旧製品からの移行の流れ	76
2 事業所データのコンバート	77
3 帳票レイアウトデータのコンバート	82
4 環境設定のコンバート	85
5 データコンバート後の設定と確認 <ネットワークのみ> ...	92

1 旧製品からの移行の流れ



帳票レイアウトデータ（弥生販売 11 形式）と環境設定のコンバートを行ってください

帳票レイアウトデータや環境設定のコンバートを行わないと、旧製品では正常に印刷できた伝票などが、弥生販売 12 で印刷すると印刷位置がずれることがあります。

なお、帳票レイアウトデータのコンバートは、弥生販売 11 以前の帳票レイアウトを使用していた場合に行います。

2 事業所データのコンバート

既に弥生販売をご使用の場合は、旧製品の事業所データを弥生販売 12 の形式にコンバート(変換)することで引き続き使用することができます。

2-1 コンバート対象製品

次の弥生販売製品の「事業所データファイル」または「バックアップファイル」を弥生販売 12 の形式にコンバートすることができます。

- 弥生販売 11 プロフェッショナル
- 弥生販売 11 スタンダード
- 弥生販売 11 ネットワーク
- 弥生販売 10 プロフェッショナル
- 弥生販売 10 スタンダード
- 弥生販売 10 ネットワーク

2-2 事業所データのコンバート

コンバート後のデータは新しいデータとして保存されます。コンバート前の事業所データが消去されたり内容が変更されたりすることはありません。



コンバートにかかる時間について

コンバートを行う事業所データの容量によって、コンバートにかかる時間が異なります。カウンターが動いている間はコンバート中ですが、データの容量によっては、コンバートの完了画面がすぐに表示されない場合があります。完了画面が表示されるまでお待ちください。



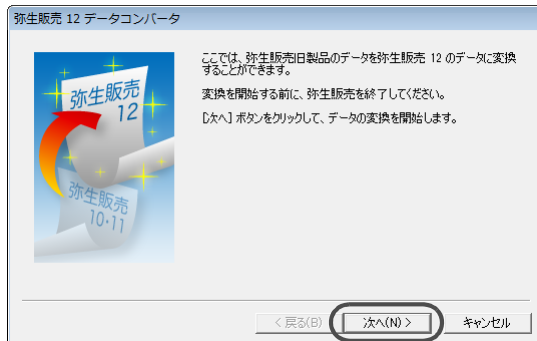
バックアップファイルでコンバートを行う場合

バックアップファイルを使用してコンバートを行う場合は、次のことを注意してください。

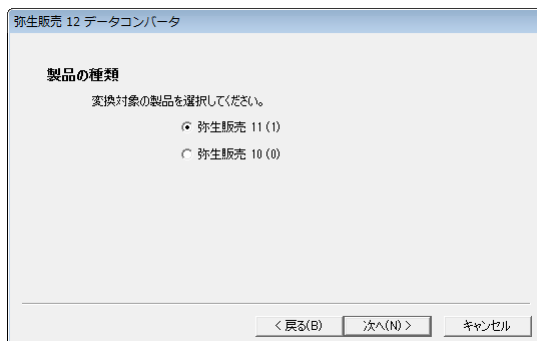
- 旧製品で最新の事業所データのバックアップファイルを作成します。
- コンバートを行う最新のバックアップファイルの保存場所を確認しておきます。P79 手順 5 のバックアップファイルを選択する場合は、ここで確認した保存場所を指定します。
- バックアップファイルをフロッピーディスクやMOなどの外部メディアに保存している場合は、対象となるメディアをあらかじめコンピューターにセットしてください。

事業所データをコンバートする

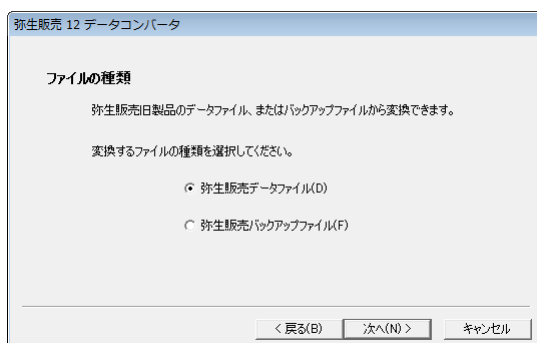
- すべてのプログラムを終了します。
特に、常駐プログラムが動作している場合、正しくコンバートできないことがあります。
また、弥生販売が起動しているとコンバートを実行できません。
- Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[弥生シリーズ]－[弥生販売 12]－[弥生販売 12 データコンバータ]をクリックします。
[弥生販売 12 データコンバータ]が起動します。



- コンバート対象となる弥生販売製品を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



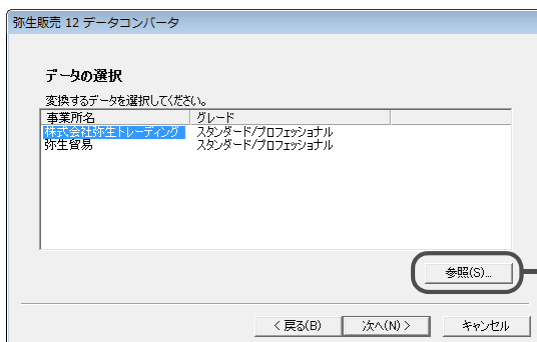
- コンバートするファイルの種類を「データファイル」か「バックアップファイル」かを選択します。



5. コンバートするデータを選択します。

<[データファイル]を選択した場合>

コンバートするデータを一覧から選択します。目的のデータが表示されない場合は、[参照]ボタンをクリックして、データが保存されているサーバーを選択します。



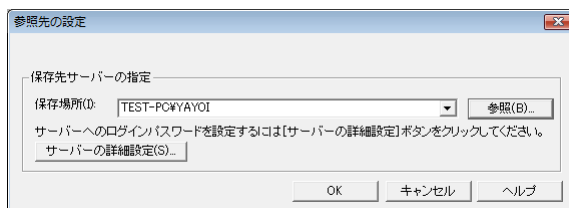
データベースに接続して
事業所データを表示しま
す。
→下記メモを参照



初めて事業所データをコンバートする場合

初めて事業所データをコンバートする場合には、事業所データとデータベースの接続設定を行う必要があります。[参照]ボタンをクリックして、[参照先の設定]ダイアログにて、データベースのsaパスワードを設定してください。

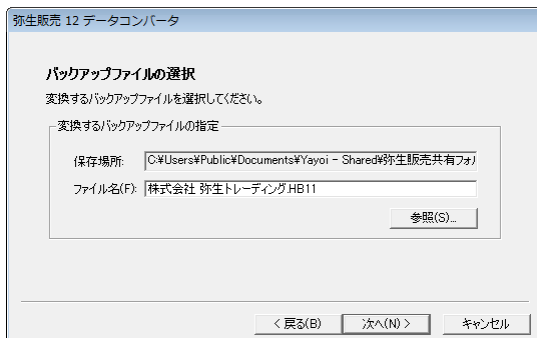
→ログインパスワード(saパスワード)の設定(P67)



<[バックアップファイル]を選択した場合>

[参照]ボタンをクリックして、コンバートするバックアップファイルを選択します。

バックアップファイルの保存場所がわからない場合は、Windows の検索機能を使用して探してください。または、バックアップファイルを再度作成してください。



6. コンバート後のデータの保存先サーバーと事業所データ名を設定します。

【参照】ボタンをクリックして、事業所データの保存先を選択します。

保存先の選択方法については、「ログインパスワード(sa パスワード)の設定」(P67)を参照してください。

7. 設定内容を確認し、問題がなければ【開始】ボタンをクリックします。

修正する場合は、[戻る]ボタンをクリックして修正する項目の画面まで戻ります。

8. コンバートの完了画面が表示されたら、【完了】ボタンをクリックします。

<弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーの場合>

弥生販売プロフェッショナルの場合は、帳票レイアウトデータのコンバートを促すメッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックすると、帳票コンバータが起動します。P83 の手順 4 に進んでください。

[いいえ]ボタンをクリックすると、印刷設定などの環境設定のコンバートを促すメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックすると、事業所データのコンバートが終了します。

引き続き、「環境設定のコンバート」(P85)を行ってください。

帳票レイアウトデータのコンバートは、旧製品の帳票レイアウトで作成した独自の帳票を、弥生販売 12 にコンバートします。

環境設定のコンバートは、旧製品で調整した印刷設定などを弥生販売 12 にコンバートします。

帳票レイアウトデータや環境設定のコンバートは、事業所データのコンバートを終了した後でも行うことができます。

→帳票レイアウトデータのコンバート(P82)

→環境設定のコンバート(P85)

＜弥生販売ネットワークの場合＞

引き続き、「帳票レイアウトデータのコンバート」(P82)と「環境設定のコンバート」(P85)を行ってください。

帳票レイアウトデータのコンバートは、旧製品の帳票レイアウトで作成した独自の帳票を、弥生販売 12 にコンバートします。

環境設定のコンバートは、旧製品で調整した印刷設定などを弥生販売 12 にコンバートします。

→帳票レイアウトデータのコンバート(P82)

→環境設定のコンバート(P85)



メモ

エラーメッセージが表示された場合

- 「サーバーにアクセスできませんでした。」
このメッセージが表示された場合は、保存先サーバー名が正しいかを確認してください。正しい保存先サーバー名を入力している場合は『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照して確認を行ってください。
- 「既に同じ名前の事業所データが存在します。」
このメッセージが表示された場合は『データベースインストールマニュアル』の「困ったときは」を参照して確認を行ってください。

3 帳票レイアウトデータのコンバート

弥生販売 11 以前の帳票レイアウトを使用していた場合には、帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)を弥生販売 12 の形式にコンバート(変換)します。

3-1 コンバート対象製品

下記の弥生販売の帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)を弥生販売 12 の形式にコンバートすることができます。

コンバートする場合は、下記の対象製品が弥生販売 12 と同一のコンピュータにインストールされている必要があります。

- 弥生販売 11 ネットワーク
- 弥生販売 11 プロフェッショナル
- 弥生販売 10 ネットワーク
- 弥生販売 10 プロフェッショナル

3-2 帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)のコンバート

コンバート後のデータは新しいデータとして保存されます。コンバート前の帳票レイアウトデータが消去されたり内容が変更されたりすることはありません。



バックアップファイルではコンバートできません

帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)をコンバートするには、レイアウトデータのバックアップファイルではコンバートすることはできません。



複数のコンピューターでお使いの場合

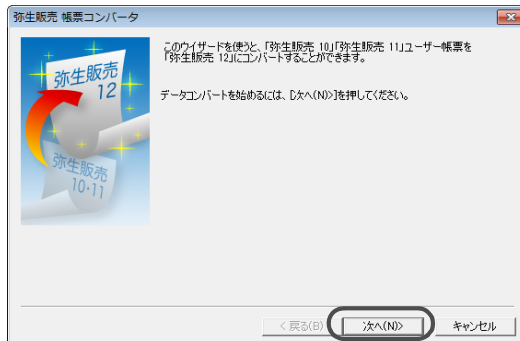
帳票レイアウトデータは、レイアウトデータを作成、編集したコンピューターに保存されます。

異なるレイアウトデータが複数のコンピューターに保存されている場合は、インポート、エクスポート機能を使用してレイアウトデータを1台のコンピューターにまとめてからコンバートしてください。

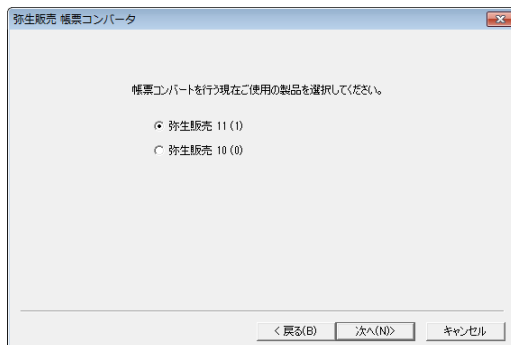
帳票レイアウトデータのエクスポートとインポートについては、ヘルプや帳票レイアウトのヘルプを参照してください。

☞ 帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)をコンバートする

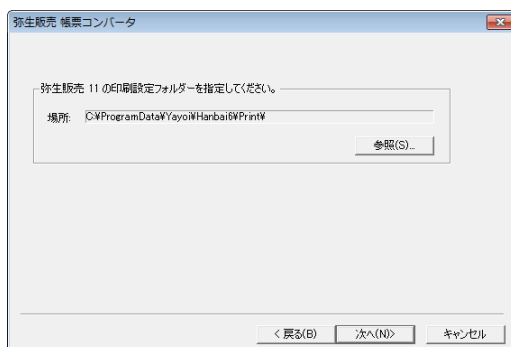
1. すべてのプログラムを終了します。
特に、常駐プログラムが動作している場合、正しくコンバートできないことがあります。
また、帳票レイアウトが起動しているとコンバートを実行できません。
2. Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[弥生シリーズ]－[弥生販売 12]－[帳票コンバータ]をクリックします。
[弥生販売 帳票コンバータ]が起動します。
3. [次へ]ボタンをクリックします。



4. コンバート対象となる弥生販売製品を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

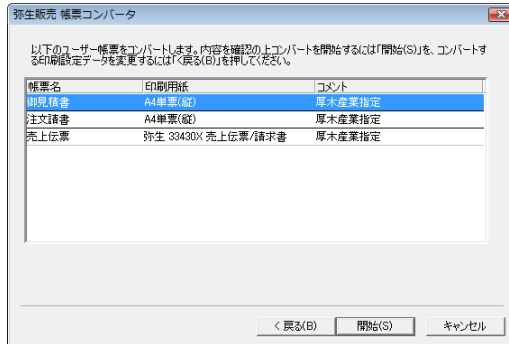


5. コンバートする弥生販売製品の印刷設定フォルダーを指定します。
通常は自動的に指定されます。変更する場合は、[参照]ボタンをクリックします。



6. 設定内容を確認し、問題がなければ[開始]ボタンをクリックします。

設定内容を修正する場合は、[戻る]ボタンをクリックします。



7. コンバートの完了画面が表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

<弥生販売プロフェッショナル 2 ユーザーのみ>印刷設定などの環境設定のコンバートを促すメッセージ表示されます。[OK]ボタンをクリックすると、帳票レイアウトデータのコンバートが終了します。

引き続き、「環境設定のコンバート」(P85)を行ってください。

環境設定のコンバートは、旧製品で調整した印刷設定などを弥生販売 12にコンバートします。

→環境設定のコンバート(P85)



帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)のコピー

弥生販売 11 以前の帳票レイアウトで作成された帳票レイアウトデータは、レイアウトデータをコンバートしたコンピューターに保存されます。他のコンピューターの弥生販売でもレイアウトデータを使用する場合は、次の手順でレイアウトデータをコピーします。

1. レイアウトデータのコンバートを実行したコンピューターで、コンバートしたレイアウトデータをバックアップします。
2. 弥生販売を使用するすべてのコンピューターで、手順 1 で作成したバックアップファイルを復元します。
3. 画像を配置したレイアウトデータがある場合は、画像をコピーします。

帳票レイアウトデータ(弥生販売 11 形式)のバックアップと復元については、ヘルプや帳票レイアウトのヘルプを参照してください。

4 環境設定のコンバート

機能設定や印刷での設定などを弥生販売 12 にコンバート(変換)します。
旧製品での設定内容を弥生販売 12 に移行することができます。

4-1 コンバート対象製品

次の弥生販売製品の環境設定を弥生販売 12 にコンバートすることができます。

- 弥生販売 11 ネットワーク
- 弥生販売 11 プロフェッショナル
- 弥生販売 11 スタンダード
- 弥生販売 10 ネットワーク
- 弥生販売 10 プロフェッショナル
- 弥生販売 10 スタンダード



弥生販売 12 の環境設定を移行する場合

次の弥生販売 12 製品の環境設定を移行することもできます。

- 弥生販売 12 ネットワーク
- 弥生販売 12 プロフェッショナル
- 弥生販売 12 スタンダード

弥生販売 12 製品の環境設定を移行する場合は、別のコンピューターに移行する場合のみコンバートを行います。同じコンピューター内では環境設定のコンバートは必要ありません。

4-2 環境設定コンバートの対象項目

環境コンバートで移行される設定内容は次のとおりです。

環境設定	[環境設定] ダイアログで設定した情報
印刷の設定	[印刷] ダイアログ、印刷の[書式の設定] ダイアログで設定した情報
機能設定 項目設定	各種伝票の[機能設定] ダイアログ、[項目設定] ダイアログで設定した情報
各台帳参照の表示順 台帳リストの表示順	台帳参照ダイアログでの表示順の設定情報、 台帳リストでの表示順の設定情報
画面のサイズ、位置	弥生販売のウィンドウのサイズや表示位置

4-3 環境設定のコンバート

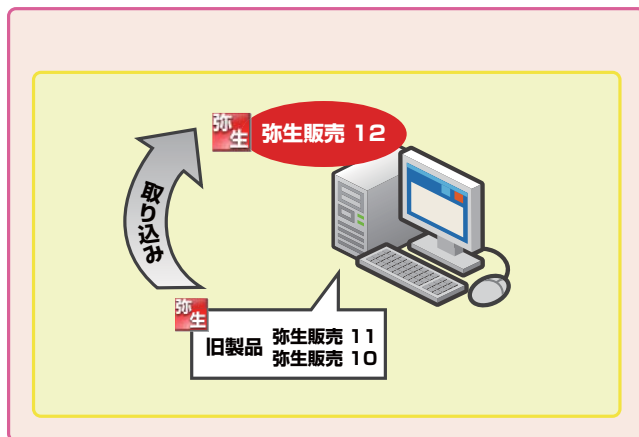
旧製品から環境設定を、同じコンピューター内で移行する場合と、別のコンピューターへ移行する場合で、コンバートの手順が異なります。それぞれの手順について説明します。

同じコンピューター内での移行

弥生販売 12がインストールされているコンピューター内の旧製品の環境設定を移行します。例えば、今まで旧製品の弥生販売を使用していたコンピューターに、新たに弥生販売 12をインストールして使用する場合などにこのコンバート機能を使用します。

環境設定を移行するには、弥生販売 12 を起動して旧製品から環境設定を取り込む操作を行います。

1. 「環境設定を取り込む」手順を行います。 → P89

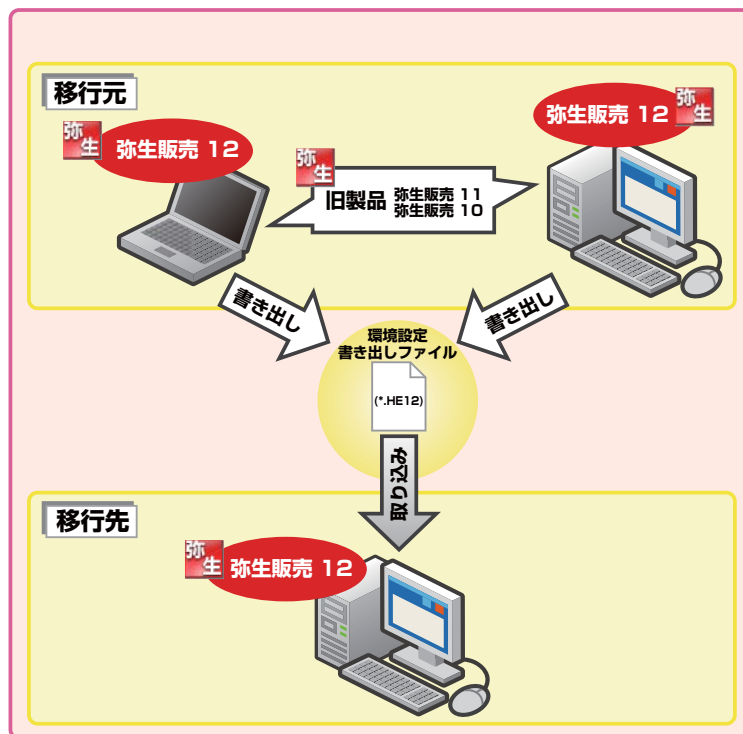


別のコンピューターへ移行

現在使用しているコンピューターから別のコンピューターへ環境設定を移行します。例えば、コンピューターの買い替えなどにより、弥生販売を他のコンピューターで使用する場合などにこのコンバート機能を使用します。

環境設定を移行するには、まず、今まで使用していたコンピューターで環境設定をファイルへ書き出します。次に、書き出した環境設定のファイルを新しいコンピューターに取り込みます。

1. 移行先のコンピューターに弥生販売 12 をインストールします。 → P40
2. 「環境設定をファイルへ書き出す」手順を行います。 → P87
3. 「環境設定を取り込む」手順を行います。 → P89



弥生販売を複数のユーザーで使用している場合について

環境設定の設定内容は、Windows のログオンユーザーと弥生販売のユーザー名に依存します。

お使いのコンピューターや弥生販売を複数のユーザーで使用している場合は、「複数ユーザーでの使用」(P91)を参照してください。

弥生販売を複数のコンピューターで使用している場合について

弥生販売を複数のコンピューターで使用している場合は、すべてのコンピューターで移行作業が必要です。



環境設定をファイルへ書き出す

1. 旧製品の弥生販売を終了します。
旧製品の弥生販売が起動しているとコンバートを実行できません。
2. [環境設定の書き出し]を起動します。
 1. 弥生販売を起動します(P46)。

2. [ツール]メニューから[環境設定コンバート]－[環境設定書き出し]をクリックします。

[環境設定の書き出し]が起動します。

書き出し対象を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



3. 環境設定の書き出し元の製品の種類を選択します。

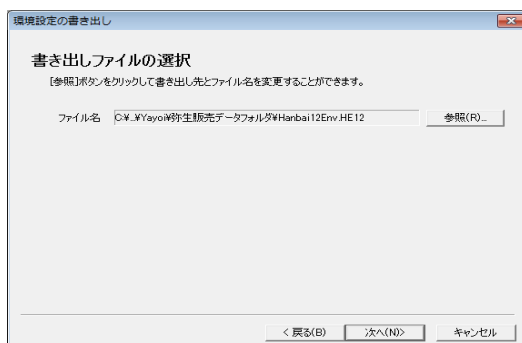
<手順 2 で[弥生販売 12 の設定を書き出す]を選択した場合>
手順 4 へ進んでください。

<[このコンピュータの旧製品の設定を書き出す]を選択した場合>
書き出し元の製品を選択し、[次へ]をクリックします。



4. [参照]ボタンをクリックして、設定ファイルの保存先を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

別のコンピュータに設定ファイルを移行する場合は、保存先にMOやフロッピーディスクなどを選択してください。



5. **【開始】ボタンをクリックして、環境設定の書き出しを実行します。**

修正する場合は、**【戻る】**ボタンをクリックして修正する項目の画面まで戻ります。



6. 環境設定の書き出し完了の画面が表示されたら、**【完了】**ボタンをクリックします。

 環境設定を取り込む

1. 旧製品の弥生販売を終了します。

旧製品の弥生販売が起動しているとコンバートを実行できません。

2. 弥生販売 12 を起動します(P46)。

3. **【ツール】メニューから【環境設定コンバート】－【環境設定取り込み】をクリックします。**

【環境設定の取り込み】が起動します。

4. 取り込み方法を選択し、**【次へ】**ボタンをクリックします。



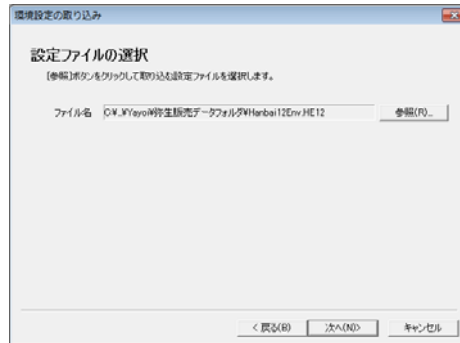
5. 取り込むデータを選択します。

< [書き出された設定ファイルを取り込む] を選択した場合 >

取り込む設定ファイルを選択します。

[参照] ボタンをクリックして、設定ファイルが保存されているフォルダーを選択します。

別のコンピュータで書き出した設定ファイルを取り込むには、P88 の手順 4 で保存した MO やフロッピーディスクなどを選択してください。



< [このコンピュータの旧製品の設定を取り込む] を選択した場合 >

取り込む製品を選択し、[次へ] をクリックします。

次の画面で取り込むデータの確認をします。



6. [開始] ボタンをクリックして、環境設定の取り込みを実行します。

修正する場合は、[戻る] ボタンをクリックして修正する項目の画面まで戻ります。



7. 環境設定の取り込み完了の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

4-4 複数ユーザーでの使用

環境設定の設定内容は、Windows のログオンユーザーと弥生販売のユーザー名ごとに異なります。そのため、弥生販売を複数のユーザーで使用している場合は、環境設定の移行の際に次のことを確認してください。

Windows のログオンユーザー

弥生販売の環境設定の内容は、Windows のログオンユーザーごとに異なります。1 台のコンピュータで、複数の Windows ログオンユーザーで使用している場合は、ログオンユーザーごとに環境設定の取り込みが必要です。

<複数のログオンユーザーで使用しているかどうか分からない場合>

コンピュータを起動する時に、ユーザーの選択やユーザー名の入力を行っていない場合は、複数のログオンユーザーで使用していません。

弥生販売のユーザー名

弥生販売の環境設定の内容は、弥生販売のユーザー名ごとに異なります。弥生販売のユーザー管理機能を使用して、複数のユーザー名を設定している場合は、ユーザー名ごとに環境設定の取り込みが必要です。

5 データコンバート後の設定と確認

<ネットワークのみ>

弥生販売 12 ネットワークには、スタンダードまたはプロフェッショナルにはない機能があります。スタンダードまたはプロフェッショナルから事業所データをコンバートした場合は、以下の点について確認してください。

[1]伝票の承認
売上伝票、入金伝票、仕入伝票、出金伝票に承認機能があります。 承認機能を使用する場合は、コンバート後に次の手順で設定が必要になります。 1. 承認機能を設定する 2. 承認機能に関するユーザー設定をする →承認機能の設定→ヘルプの「伝票の承認処理」
[2]受注からの発注伝票の一括作成
登録済み受注伝票の明細を基に、発注伝票を一括で自動作成することができます。 一括作成を行うには、コンバート後に次の設定が必要になります。 ・受注伝票の明細で一括作成の対象の設定をする →受注からの発注伝票一括作成→ヘルプの「仕入」
[3]ユーザーのログ表示
ユーザーのログイン、ログアウトの状況や操作の記録(ユーザー操作ログ)、データ更新の記録(データ更新ログ)を確認できます。 この機能を使用するには、コンバート後に、ログ管理の対象にするかどうかの設定をする必要があります。 →ログ管理対象を設定する→ヘルプの「基本情報の設定」
[4]倉庫と在庫の設定
複数の倉庫の在庫を管理できます。 コンバート時に、商品の在庫は「共通倉庫(初期設定の倉庫)」に移行されます。複数の倉庫で在庫を管理する場合は、コンバート後に次の手順で倉庫ごとの在庫を登録する必要があります。 1. 倉庫台帳に倉庫を登録する →倉庫台帳→ヘルプの「台帳の登録」 2. 倉庫移動伝票で、共通倉庫から各倉庫に在庫を移動する →倉庫間の在庫移動→ヘルプの「在庫と生産」 倉庫ごとの在庫を登録する前に、必要に応じて弥生販売の在庫数と実際の在庫数が一致していることを確認してください。
[5]他のソフトウェアなどと連携している場合
台帳や伝票に項目が追加されます。 エクスポート、インポートの機能を使用して他のソフトウェアなどと連携している場合は、弥生販売 12 の項目を確認し、必要に応じて連携しているソフトウェアなどの設定を変更してください。エクスポート、インポートの項目は、[スタート]メニューの[すべてのプログラム]を選択し、[弥生シリーズ]→[弥生販売 12]→[マニュアル]にある補足資料「インポート項目一覧」「エクスポート項目一覧」を参照してください。また、テキスト書き出し(エクスポート)やテキスト読み込み(インポート)の操作については、ヘルプ「データの受け渡し」を参照してください。
[6]分類の拡充
商品分類、得意先分類、仕入先分類がそれぞれ 5 種類に拡充されます。 コンバート後、必要に応じて分類を追加してください。 →分類台帳→ヘルプの「台帳の登録」
[7]入金の消し込み
[入金伝票]ウィンドウの「消込部」には、消し込みをしていないすべての伝票が表示されます。 過去の取引を表示させない場合は、コンバート後に得意先元帳で過去の伝票の消し込みをしてください。 →入金伝票の作成/得意先元帳→ヘルプの「売上」

7

プログラムの修復と削除

弥生販売のプログラムの修復と削除について説明します。

1 弥生販売の修復と削除	94
--------------------	----

1 弥生販売の修復と削除

1-1 弥生販売の修復

弥生販売の動作が不安定になった場合などは、次の手順で弥生販売を再インストールして修復することがあります。導入アドバイザーや一括バックアップツール、ライセンス認証管理ツールも同様の手順で修復できます。
修復を行うことで事業所データが削除されることはありません。プログラムの修復後、そのままご利用いただけます。



弥生販売の事業所データは修復されません

弥生販売のプログラムの修復では、作成した事業所データを修復することはできません。



弥生販売を修復する

1. 起動しているすべてのプログラムを終了します。
特に、常駐プログラムが動作していると、正しく修復できないことがあります。
2. DVD-ROM ドライブに弥生販売 12 の DVD-ROM をセットします。
[弥生販売 12 インストールランチャー]が表示されます。
3. [このメディアを開く]ボタンをクリックします。

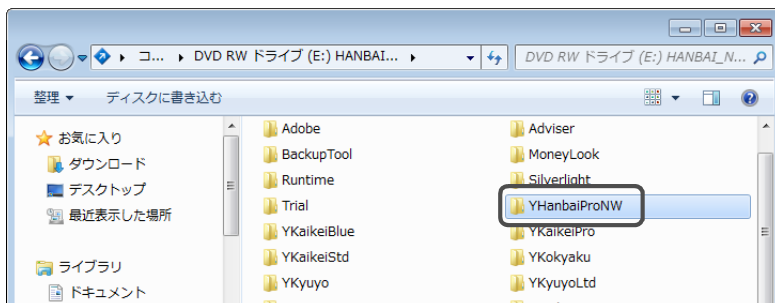


4. 「YHanbaiProNW」-「Hanbai」をダブルクリックします。

「Hanbai」フォルダーが表示されます。

次のツールを修復する場合は、「YHanbaiProNW」-「Hanbai」ではなく、各ツールのフォルダーをダブルクリックしてください。

- 導入アドバイザーを修復する場合
「Adviser」-「Hanbai」をダブルクリックしてください。
- 一括バックアップツールを修復する場合
「BackupTool」をダブルクリックしてください。
- ライセンス認証管理ツールを修復する場合
「YNinsyo」をダブルクリックしてください。



5. 「Setup」をダブルクリックします。

6. 「ようこそ」画面が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックします。

7. [修復]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

削除を選択すると弥生販売の削除を行うことができます。

8. 修復の確認画面で、[インストール]ボタンをクリックします。



9. 弥生販売の修復が完了したらウィザードの完了画面が表示されるので、[完了]ボタンをクリックします。

10. DVD-ROM ドライブから DVD-ROM を取り出します。

1-2 弥生販売の削除

弥生販売や導入アドバイザー、一括バックアップツール、ライセンス認証管理ツールをハードディスクから削除する場合は、次の手順で行います。



弥生販売を削除する前の注意

弥生販売を削除する前に、必ずライセンス認証の解除を行ってください。ライセンス認証の解除を行う前に弥生販売を削除すると、別のコンピュータで弥生販売を使用できなくなります。弥生販売を別のコンピュータにインストールする場合や、お使いのコンピュータを廃棄する場合、コンピュータをフォーマットする場合は、必ずライセンス認証の解除を行った後、弥生販売を削除してください。

→ライセンス認証の解除を行う(P52)



弥生販売の事業所データは削除されません

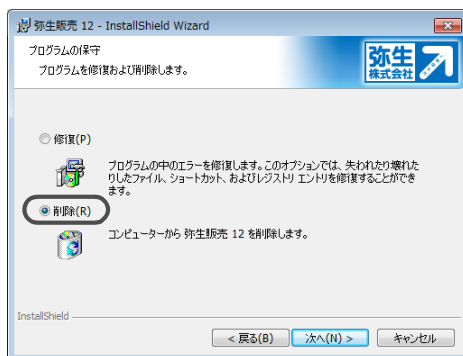
事業所データの削除については、弥生販売のプログラムを削除する前にヘルプを参照してください。



弥生販売を削除する

1. 弥生販売を削除する場合は、ライセンス認証を解除します(P52)。
導入アドバイザーのみ、または一括バックアップツールのみを削除する場合、ライセンス認証の解除は必要ありません。
2. 起動しているすべてのプログラムを終了します。
3. Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックします。
4. [プログラムのアンインストール]をクリックします。
Windows XP の場合は、[プログラムの追加と削除]をクリックします。
5. 表示されるプログラムの一覧から[弥生販売 12]を選択します。
次のツールを削除する場合は、[弥生販売 12]ではなく、各ツールを選択してください。
 - 導入アドバイザーを削除する場合
[弥生販売 12 導入アドバイザー]を選択します。
 - 一括バックアップツールを削除する場合
[弥生一括バックアップツール]を選択します。
 - ライセンス認証管理ツールを削除する場合
[ライセンス認証管理ツール]を選択します。
6. [変更]ボタンをクリックします。
7. 「ようこそ」画面が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックします。

8. [削除]を選択して[次へ]ボタンをクリックします。
9. 削除の確認画面で、[削除]ボタンをクリックします。



10. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



弥生販売を DVD-ROM を使用して削除する

弥生販売の削除をコントロールパネルから行えない場合は、弥生販売 12 の DVD-ROM を使用して行うことができます。

DVD-ROM を使用して削除する場合は、ライセンス認証を解除してから (P52)、「弥生販売を修復する」(P94)の手順に従って弥生販売のインストーラーを実行し、手順 7 で[修復]ではなく[削除]を選択して処理を続行します。

[illegible]

.....

[illegible][illegible]

.....

[illegible]

.....

.....

[illegible]

.....

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

.....

.....

[illegible]

弥生販売 12 ネットワーク 弥生販売 12 プロフェッショナル (5 ユーザー/2 ユーザー) インストール・コンバートマニュアル

- ・ 初 版 2011 年 10 月 17 日
- ・ 発行所 弥生株式会社
〒 101-0035
東京都千代田区神田紺屋町 17 番地
SIA 神田スクエア
<http://www.yayoi-kk.co.jp/>
- ・ ご注意 ① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ② 本書の内容に関しては訂正・改善のため、将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 落丁、乱丁はお取り替えいたします。

Copyright © 2011 Yayoi Co., Ltd. All rights reserved.